

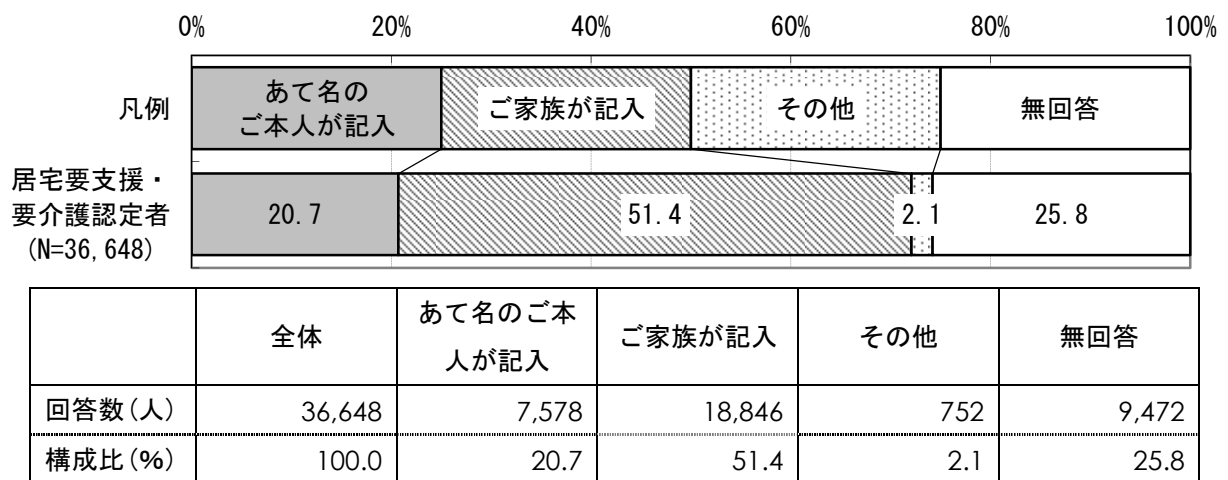
Ⅱ 居宅要支援・要介護認定者等実態調査

Ⅱ 居宅要支援・要介護認定者等実態調査

■ 調査対象者数、回答者数、回収率

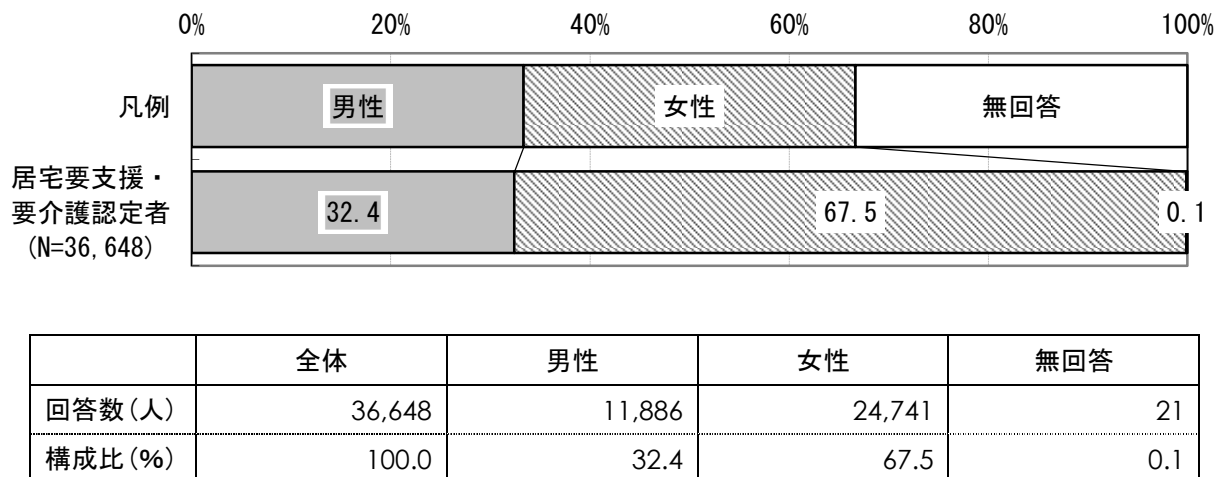
区 分	対象者数	回答者数	回収率
	56,136 人	36,648 人	65.3%

■ 調査票記入者



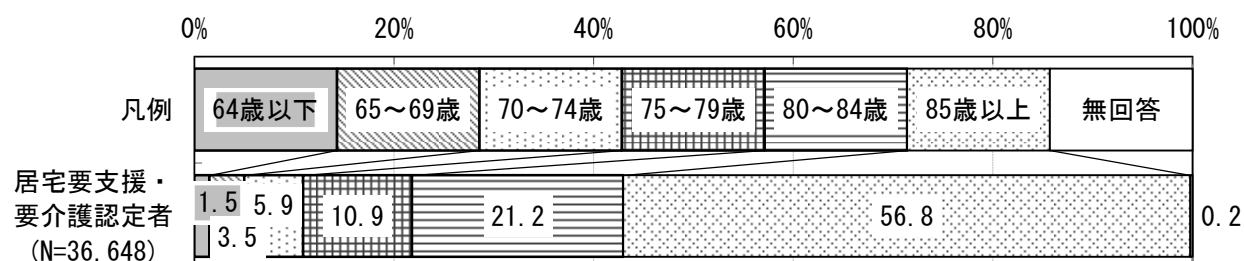
F 1 性別

・性別構成をみると、「女性」が7割近く（67.5％）と、「男性」（32.4％）の2倍以上となっている。



F 2 年齢

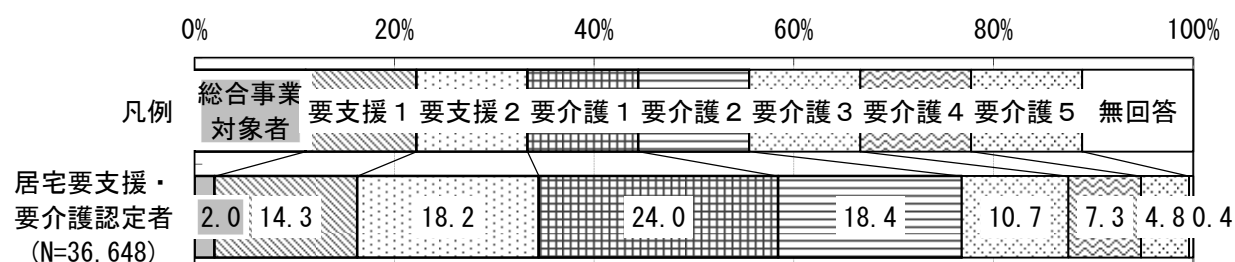
- ・年齢構成をみると、「85歳以上」が半数以上（56.8%）と最も多く、次いで「80～84歳」（21.2%）、「75～79歳」（10.9%）の順となっており、75歳以上の後期高齢者が9割近く（88.9%）となっている。



	全体	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
回答数(人)	36,648	537	1,282	2,159	4,011	7,775	20,804	80
構成比(%)	100.0	1.5	3.5	5.9	10.9	21.2	56.8	0.2

F 3 現在の要介護度

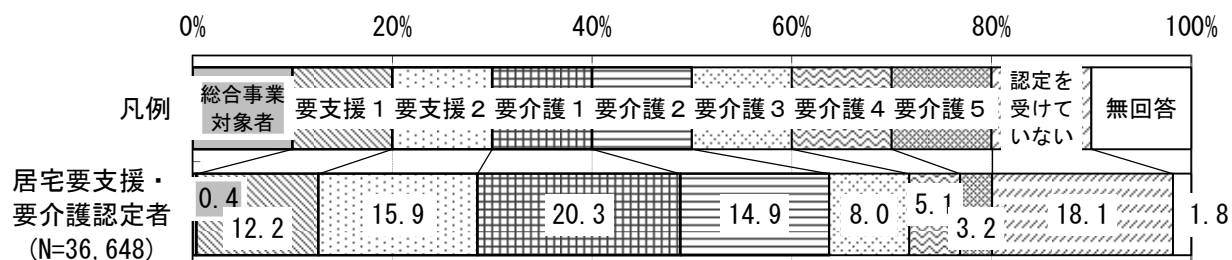
- ・現在の要介護度をみると、「要介護1～2」が4割以上（42.4%）、「要支援」が3割以上（32.5%）を占め、比較的介護度が軽い方が多い。



	全体	総合事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
回答数(人)	36,648	740	5,244	6,652	8,789	6,757	3,904	2,664	1,746	152
構成比(%)	100.0	2.0	14.3	18.2	24.0	18.4	10.7	7.3	4.8	0.4

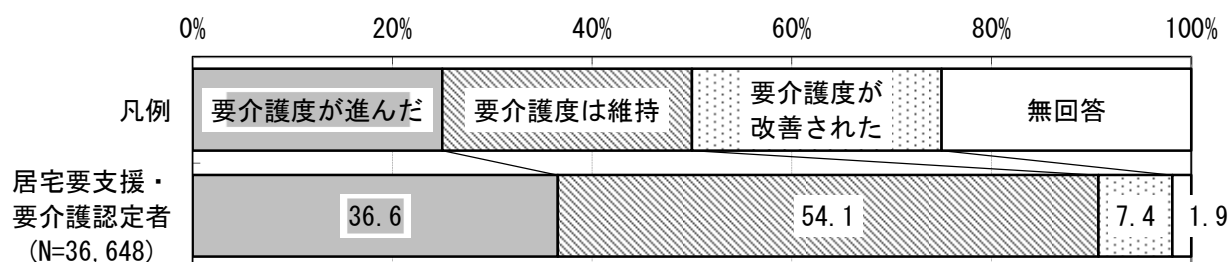
F 4 1年前の要介護度

- ・1年前の要介護度をみると、「要介護1～2」が3割以上（35.2%）、「要支援」が3割近く（28.1%）を占め、「認定を受けていなかった」が18.1%となっている。



	全体	総合事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定を受けていない	無回答
回答数(人)	36,648	163	4,455	5,834	7,444	5,473	2,931	1,878	1,157	6,641	672
構成比(%)	100.0	0.4	12.2	15.9	20.3	14.9	8.0	5.1	3.2	18.1	1.8

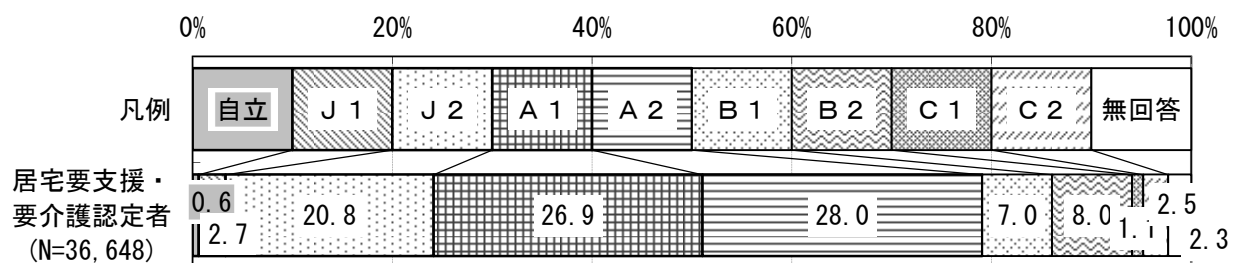
- ・現在の要介護度と比較すると、1年前と現在で要介護度に変化のない「要介護度は維持」が半数以上（54.1%）を占め最も多く、次いで「要介護度が進んだ（認定を受けていなかった人を含む）」が3割以上（36.6%）となっている一方、「要介護度が改善された」は1割未満（7.4%）となっている。



	全体	要介護度が進んだ	要介護度は維持	要介護度が改善された	無回答
回答数(人)	36,648	13,409	19,838	2,716	685
構成比(%)	100.0	36.6	54.1	7.4	1.9

F 5 障がい高齢者の日常生活自立度

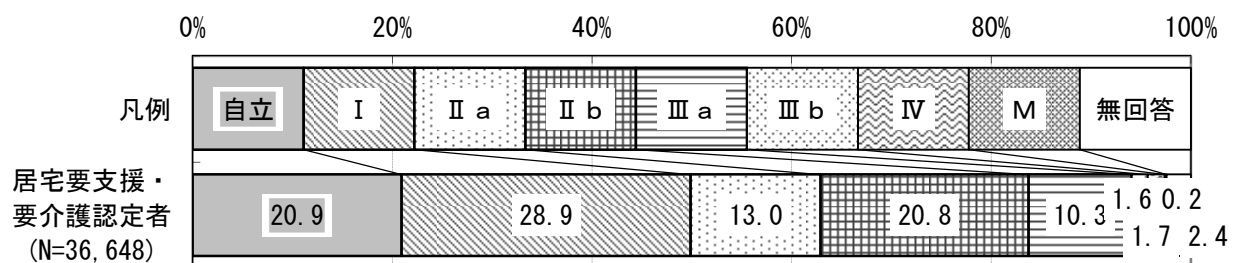
- ・障がい高齢者の日常生活自立度をみると、準寝たきり（A）、寝たきり（B・C）の計が7割以上（73.5%）となっている。



	全体	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	無回答
回答数(人)	36,648	235	974	7,637	9,857	10,277	2,560	2,940	387	930	851
構成比(%)	100.0	0.6	2.7	20.8	26.9	28.0	7.0	8.0	1.1	2.5	2.3

F 6 認知症高齢者の日常生活自立度

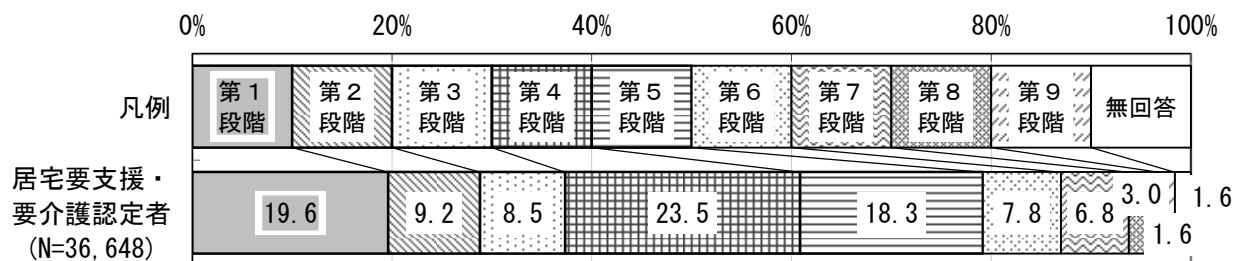
- ・認知症高齢者の日常生活自立度をみると、介護を要する方（Ⅲ以上）の計が1割以上（13.8%）となっている。



	全体	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	無回答
回答数(人)	36,648	7,673	10,604	4,777	7,629	3,787	591	607	90	890
構成比(%)	100.0	20.9	28.9	13.0	20.8	10.3	1.6	1.7	0.2	2.4

F 7 第 1 号保険料の標準所得段階

- ・第 1 号保険料の標準所得段階をみると、「第 4 段階」が 2 割以上（23.5％）を占め最も多く、次いで「第 1 段階」（19.6％）、「第 5 段階」（18.3％）の順となっている。



	全体	第 1 段階	第 2 段階	第 3 段階	第 4 段階	第 5 段階	第 6 段階	第 7 段階	第 8 段階	第 9 段階	無回答
回答数(人)	36,648	7,195	3,385	3,108	8,623	6,689	2,860	2,490	1,106	601	591
構成比(%)	100.0	19.6	9.2	8.5	23.5	18.3	7.8	6.8	3.0	1.6	1.6

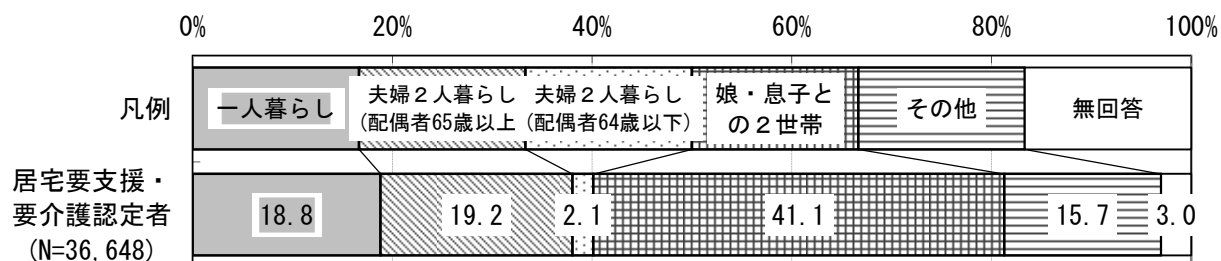
※標準所得段階の区分例。

所得段階	対象者の条件
第 1 段階	老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市区町村民税非課税、または生活保護の受給者
第 2 段階	世帯全員が市区町村民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万円超 120 万円以下の方
第 3 段階	世帯全員が市区町村民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 120 万円以上の方
第 4 段階	世帯に住民税課税者がいるが、本人が市区町村民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が 80 万円以下の方
第 5 段階	世帯に住民税課税者がいるが、本人が市区町村民税非課税で、第 4 段階以外の方
第 6 段階	本人が市区町村民税課税者で、前年の合計所得金額が 120 万円未満の方
第 7 段階	本人が市区町村民税課税者で、前年の合計所得金額が 120 万円以上 190 万円未満の方
第 8 段階	本人が市区町村民税課税者で、前年の合計所得金額が 190 万円以上 290 万円未満の方
第 9 段階	本人が市区町村民税課税者で、前年の合計所得金額が 290 万円以上の方

本人や家族の生活等の状況について

問1 家族構成

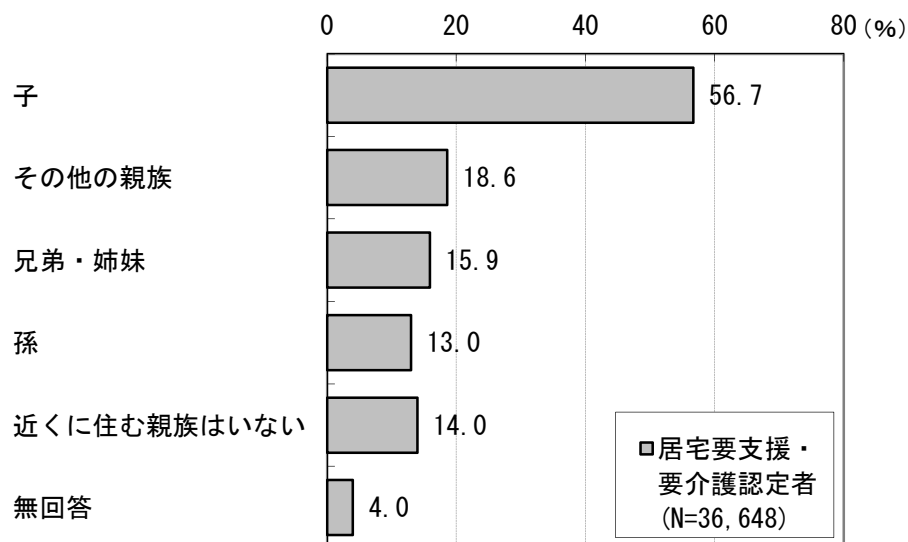
- ・家族構成をみると、「娘・息子との2世帯」が4割以上（41.1%）を占め最も多く、家族と同居している人が6割以上（62.4%）を占める一方、「一人暮らし」が2割近く（18.8%）となっている。



	全体	一人暮らし	夫婦 2人暮らし （配偶者 65歳以上）	夫婦 2人暮らし （配偶者 64歳以下）	娘・息子と の2世帯	その他	無回答
回答数(人)	36,648	6,902	7,051	784	15,077	5,752	1,082
構成比 (%)	100.0	18.8	19.2	2.1	41.1	15.7	3.0

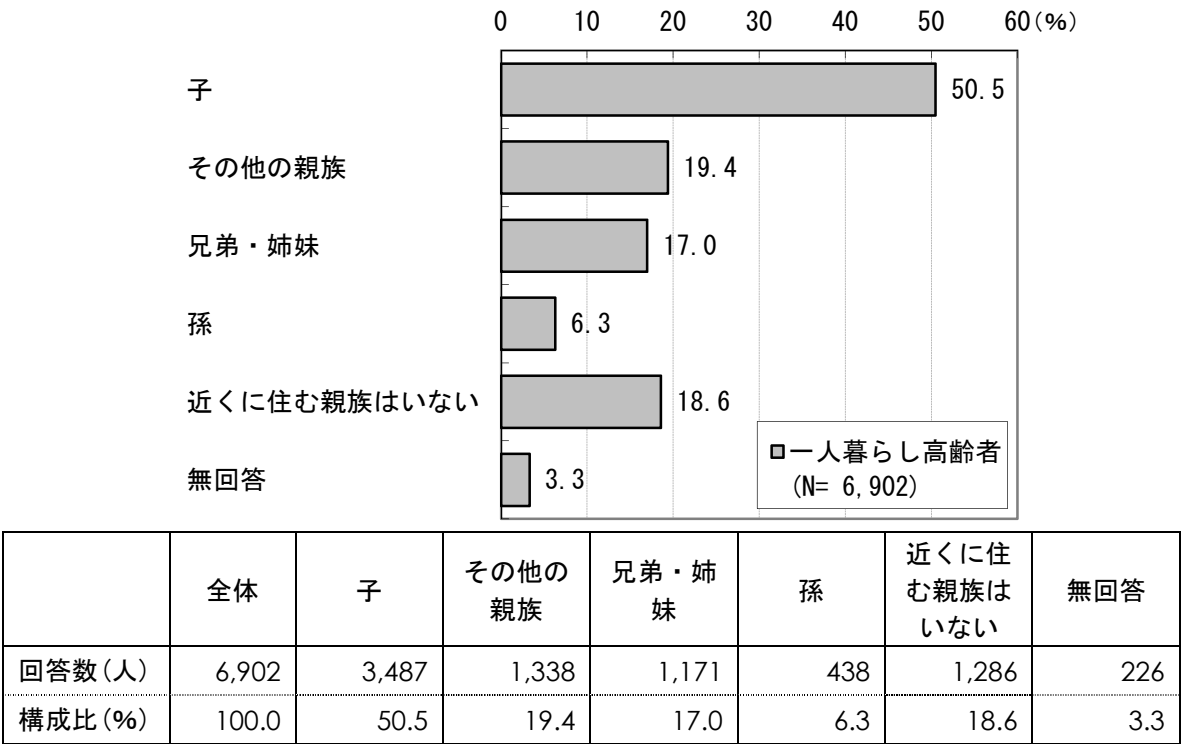
問2 急病や手助けが必要な時に30分以内で駆けつけてくれる親族の有無 (複数回答)

- ・急病や手助けが必要な時におおむね30分以内で駆けつけてくれる親族をみると、「子」が半数以上（56.7%）を占め最も多く、次いで「その他の親族」（18.6%）となっている一方、「近くに住む親族はいない」が1割以上（14.0%）となっている。



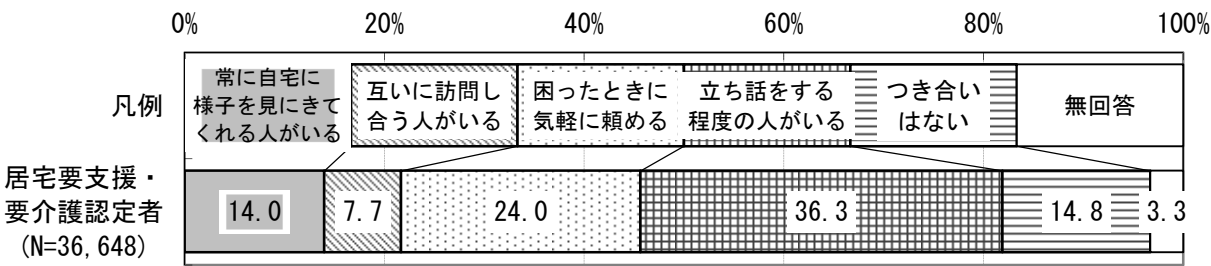
	全体	子	その他の 親族	兄弟・ 姉妹	孫	近くに 住む親族 はいない	無回答
回答数(人)	36,648	20,772	6,801	5,834	4,753	5,138	1,458
構成比 (%)	100.0	56.7	18.6	15.9	13.0	14.0	4.0

・一人暮らし世帯について、急病や手助けが必要な時におおむね 30 分以内で駆けつけてくれる親族をみると、「子」が約半数（50.5%）を占め最も多く、次いで「その他の親族」（19.4%）となっており、全体の傾向と同様となっているものの、「近くに住む親族はいない」が2割近く（18.6%）と、居宅要支援・要介護認定者全員（10 ページ：14.0%）に比べてやや高い割合となっている。



問3 近所の方との付き合いの程度

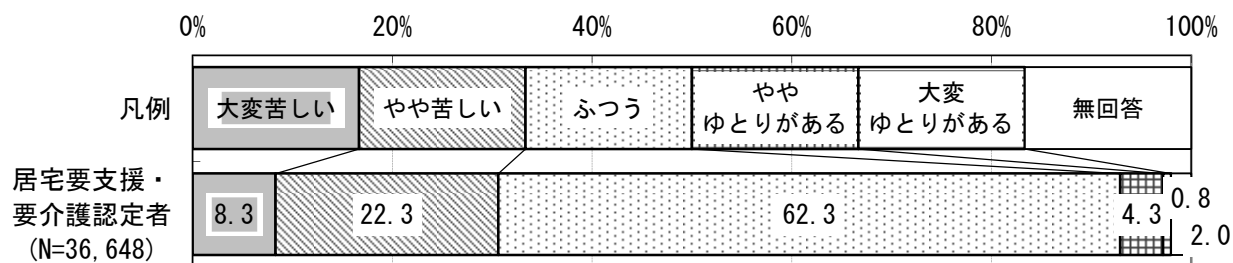
・近所の方との付き合いの程度をみると、「あいさつ、立ち話をする程度の人がいる」が3割以上（36.3%）を占め最も多く、次いで「困ったときに気軽に頼める人がある」（24.0%）の順となっている一方、「付き合いはない」が1割以上（14.8%）となっている。



	全体	常に自宅に様子を見にきてくれる（電話をくれる）人がある	お互いに訪問し合う人がある	困ったときに気軽に頼める人がある	あいさつ、立ち話をする程度の人がある	付き合いはない	無回答
回答数(人)	36,648	5,113	2,809	8,793	13,309	5,432	1,192
構成比(%)	100.0	14.0	7.7	24.0	36.3	14.8	3.3

問4 経済的にみた現在の暮らしの状況

- ・経済的にみた現在の暮らしの状況をみると、「ふつう」が6割以上（62.3％）を占め最も多くなっているものの、次いで、「やや苦しい」が2割以上（22.3％）となっており、「大変苦しい」（8.3％）と合わせると『苦しい』が約3割（30.6％）となっている。

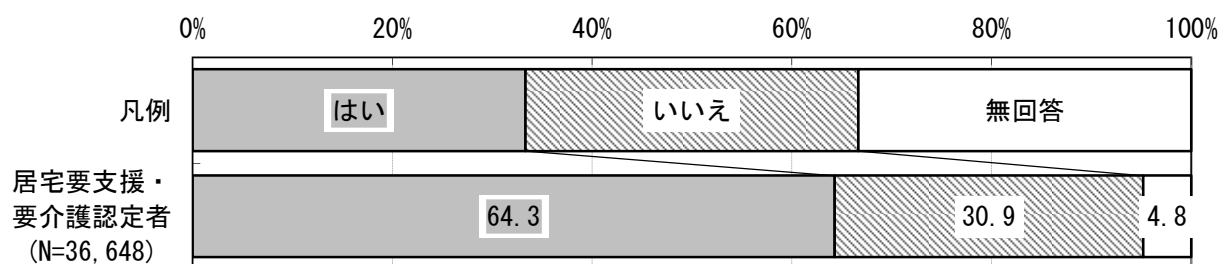


	全体	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
回答数(人)	36,648	3,033	8,188	22,823	1,590	289	725
構成比(%)	100.0	8.3	22.3	62.3	4.3	0.8	2.0

※問5～問6⑦、問7～問11⑧、問12～問16、問18～20、問24～27については、資料編に記載

問6⑧ 外出を控えているか

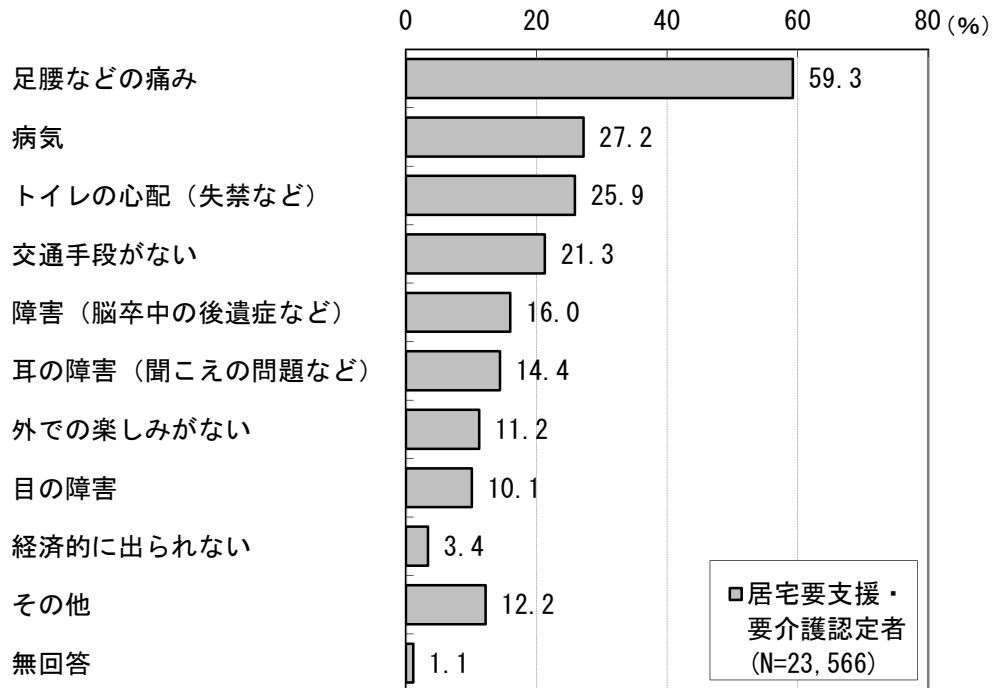
- ・外出の状況をみると、「はい（外出を控えている）」が6割以上（64.3％）となっており、「いいえ（外出を控えていない）」（30.9％）の2倍以上となっている。



	全体	はい	いいえ	無回答
回答数(人)	36,648	23,566	11,312	1,770
構成比(%)	100.0	64.3	30.9	4.8

問6⑧-1 (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由(複数回答)

- ・外出を控えている方のその理由をみると、「足腰などの痛み」が約6割(59.3%)を占め最も多く、次いで「病気」(27.2%)、「トイレの心配(失禁など)」(25.9%)、「交通手段がない」(21.3%)の順となっている。

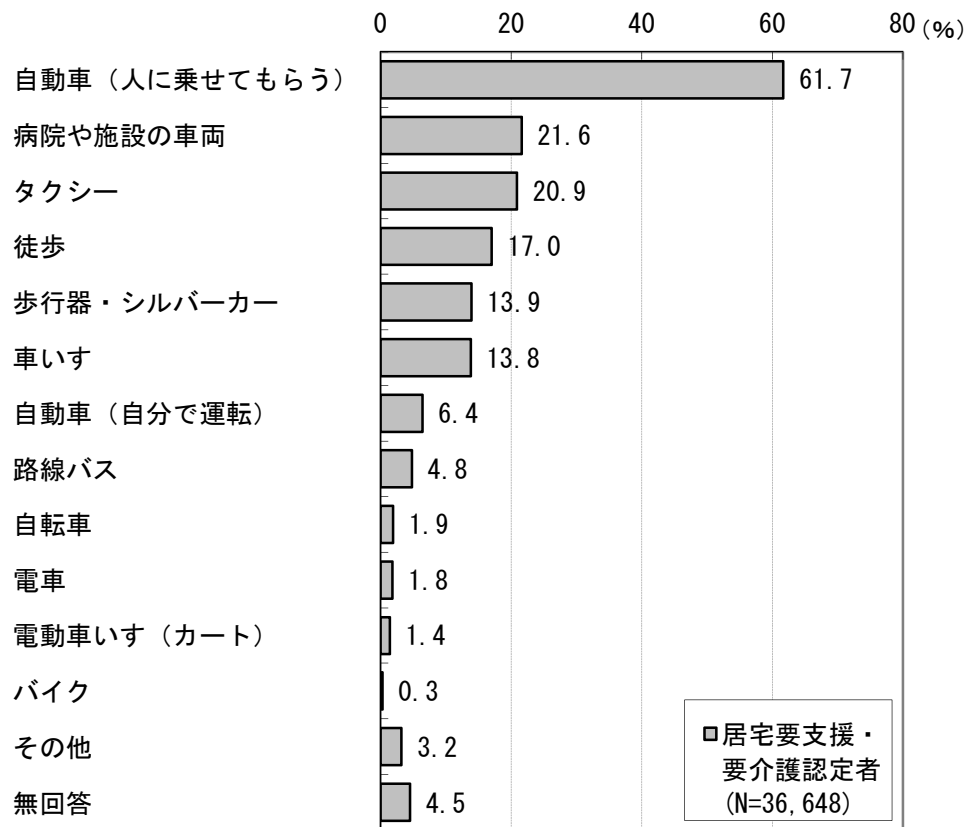


	全体	足腰などの痛み	病気	トイレの心配 (失禁など)	交通手段がない	障害(脳卒中の後遺症など)
回答数(人)	23,566	13,983	6,402	6,094	5,030	3,765
構成比(%)	100.0	59.3	27.2	25.9	21.3	16.0

	耳の障害 (聞こえの問題など)	外での楽しみがない	目の障害	経済的に出られない	その他	無回答
回答数(人)	3,382	2,633	2,376	809	2,880	270
構成比(%)	14.4	11.2	10.1	3.4	12.2	1.1

問6⑨ 外出時の移動手段（複数回答）

- ・外出時の移動手段をみると、「自動車（人に乗せてもらう）」が6割以上（61.7%）を占め最も多く、次いで「病院や施設の車両」（21.6%）、「タクシー」（20.9%）、「徒歩」（17.0%）の順となっている。

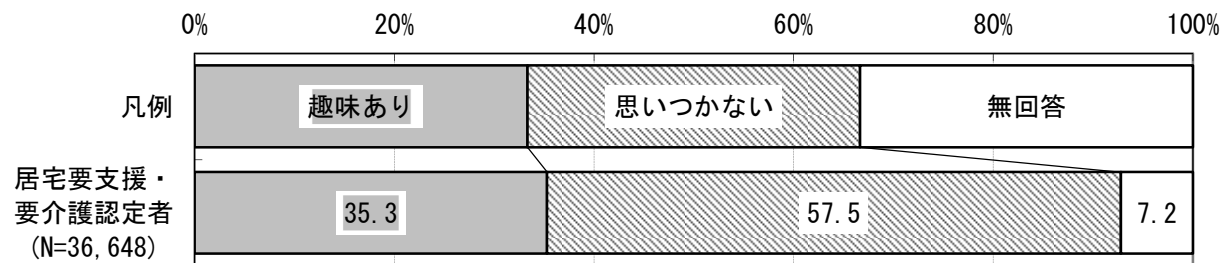


	全体	自動車 (人に乗 せても らう)	病院や 施設の 車両	タクシー	徒歩	歩行器 ・シルバ ーカー	車いす	自動車 (自分で 運転)
回答数(人)	36,648	22,625	7,927	7,668	6,240	5,112	5,066	2,356
構成比(%)	100.0	61.7	21.6	20.9	17.0	13.9	13.8	6.4

	路線 バス	自転車	電車	電動 車いす (カート)	バイク	その他	無回答
回答数(人)	1,771	701	645	525	120	1,159	1,663
構成比(%)	4.8	1.9	1.8	1.4	0.3	3.2	4.5

問 11⑨ 趣味があるか

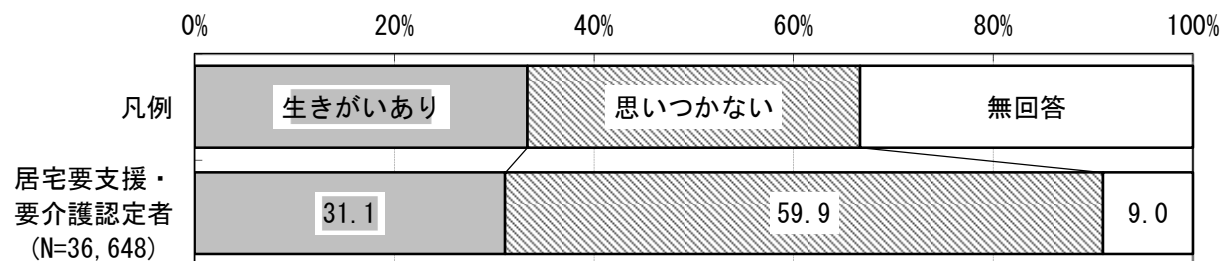
- ・趣味を持っているかをみると、「思いつかない（趣味はない）」が6割近く（57.5%）となっており、「趣味あり」（35.3%）を大幅に上回っている。



	全体	趣味あり	思いつかない	無回答
回答数(人)	36,648	12,938	21,062	2,648
構成比(%)	100.0	35.3	57.5	7.2

問 11⑩ 生きがいがあるか

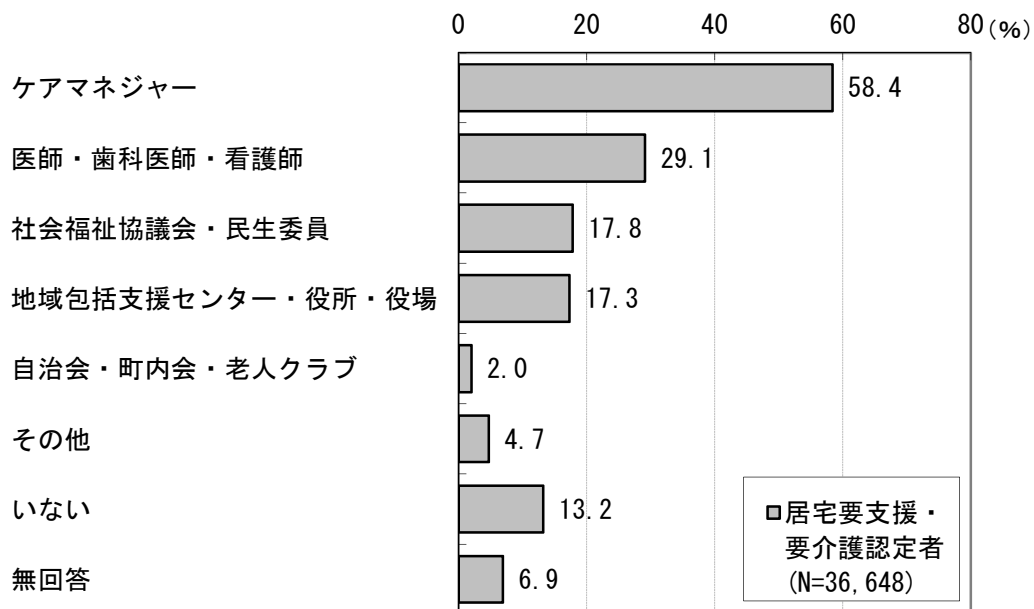
- ・生きがいを持っているかをみると、「思いつかない（生きがいはない）」が約6割（59.9%）となっており、「生きがいあり」（31.1%）の2倍近くとなっている。



	全体	生きがいあり	思いつかない	無回答
回答数(人)	36,648	11,408	21,953	3,287
構成比(%)	100.0	31.1	59.9	9.0

問 17 何かあったときの、家族や友人・知人以外の相談相手（複数回答）

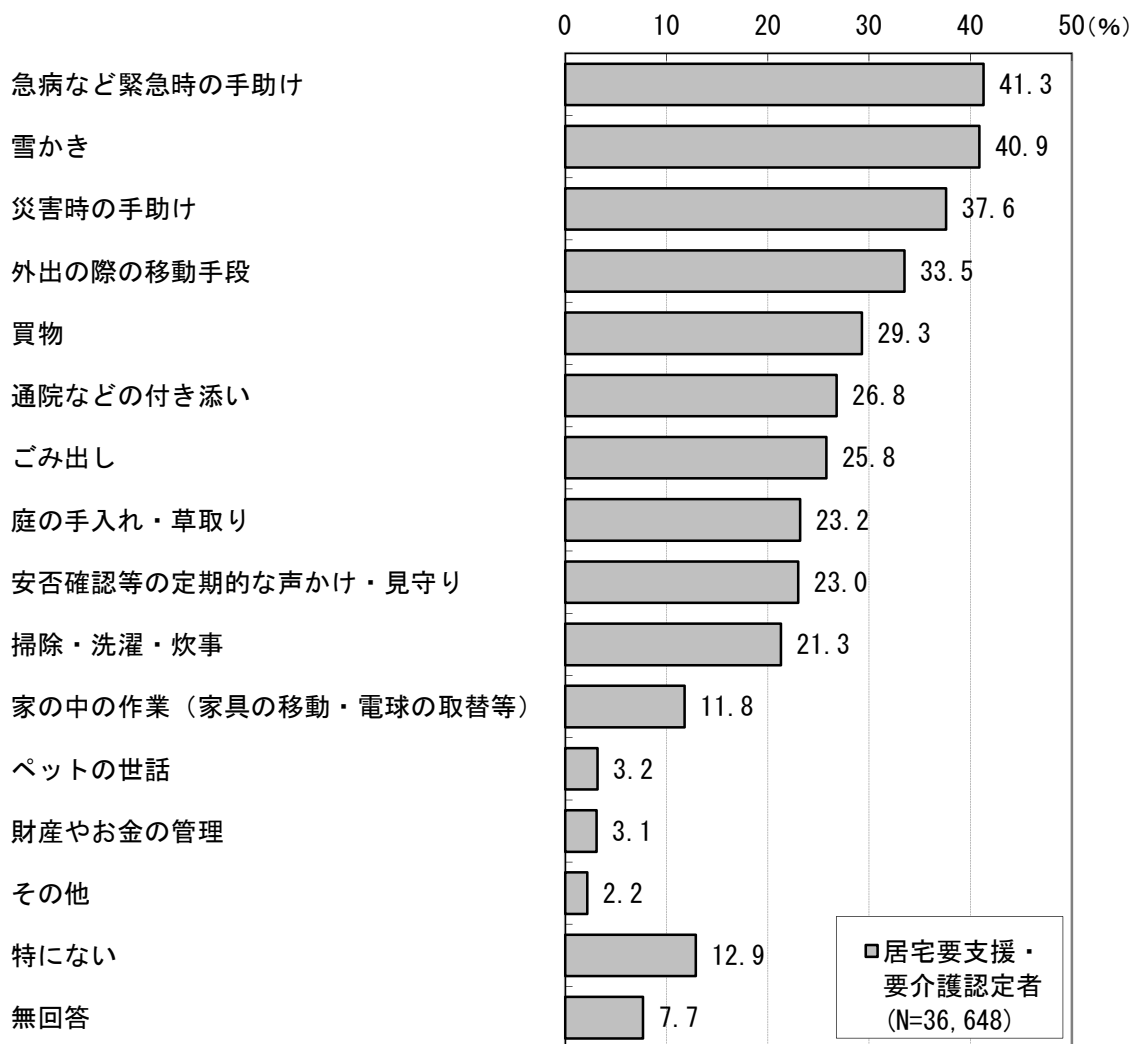
- ・何かあったときの、家族や友人・知人以外の相談相手をみると、「ケアマネジャー」が6割近く（58.4%）を占め最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」（29.1%）、「社会福祉協議会・民生委員」（17.8%）、「地域包括支援センター・役所・役場」（17.3%）の順となっている。



	全体	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	社会福祉協議会・民生委員	地域包括支援センター・役所・役場	自治会・町内会・老人クラブ	その他	いない	無回答
回答数(人)	36,648	21,418	10,663	6,512	6,355	738	1,737	4,822	2,538
構成比(%)	100.0	58.4	29.1	17.8	17.3	2.0	4.7	13.2	6.9

問 21 日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にしてほしい支援
(複数回答)

- ・日常生活上の支援が必要になったとき、地域の人にしてほしい支援をみると、「急病など緊急時の手助け」が4割以上(41.3%)を占め最も多く、次いで「雪かき」(40.9%)、「災害時の手助け」(37.6%)、「外出の際の移動手段」(33.5%)の順となっている。

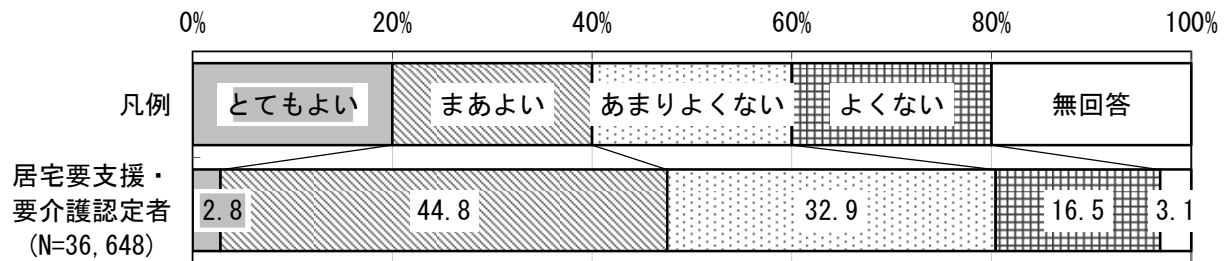


	全体	急病など緊急時の手助け	雪かき	災害時の手助け	外出の際の移動手段	買物	通院などの付き添い	ごみ出し	庭の手入れ・草取り
回答数(人)	36,648	15,132	15,004	13,795	12,289	10,739	9,824	9,447	8,516
構成比 (%)	100.0	41.3	40.9	37.6	33.5	29.3	26.8	25.8	23.2

	安否確認等の定期的な声かけ・見守り	掃除・洗濯・炊事	家の中の作業 (家具の移動・電球の取替等)	ペットの世話	財産やお金の管理	その他	特にない	無回答
回答数(人)	8,439	7,809	4,331	1,163	1,153	800	4,725	2,821
構成比 (%)	23.0	21.3	11.8	3.2	3.1	2.2	12.9	7.7

問 22 健康状況

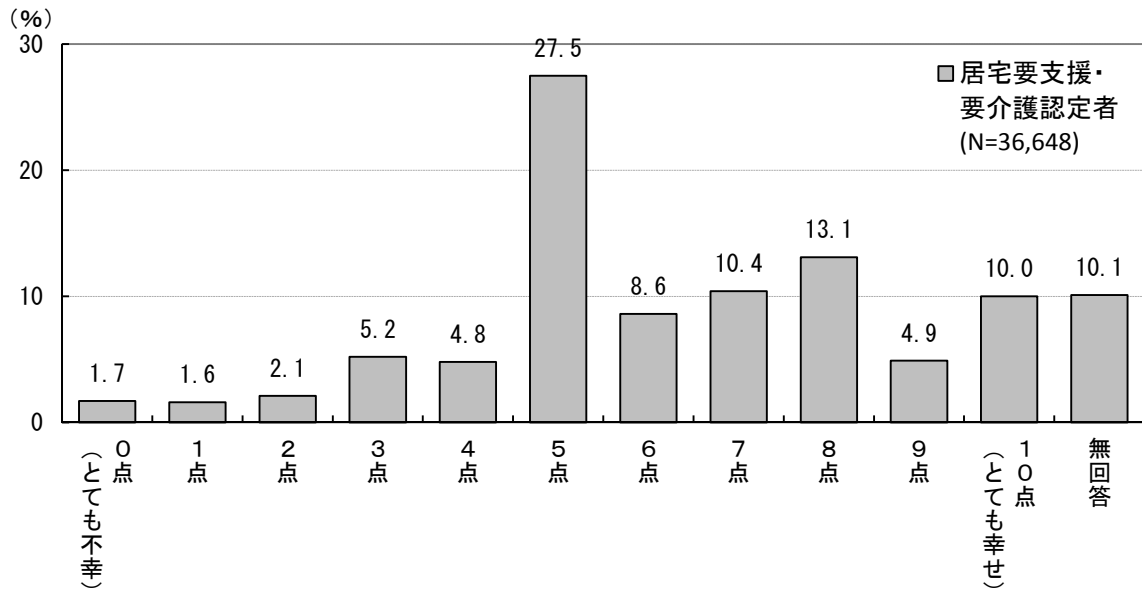
- 健康状況をみると、「まあよい」が4割以上（44.8％）で最も多くなっているものの、「あまりよくない」（32.9％）と「よくない」（16.5％）を合わせると、『よくない（健康ではない）』が約半数（49.4％）となっている。



	全体	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
回答数(人)	36,648	1,028	16,422	12,042	6,034	1,122
構成比(%)	100.0	2.8	44.8	32.9	16.5	3.1

問 23 幸福度

- ・現在の幸福度をみると、「5点」が3割近く（27.5%）と最も高く、次いで「8点」（13.1%）、「7点」（10.4%）の順となっており、平均では6.13点となっている。

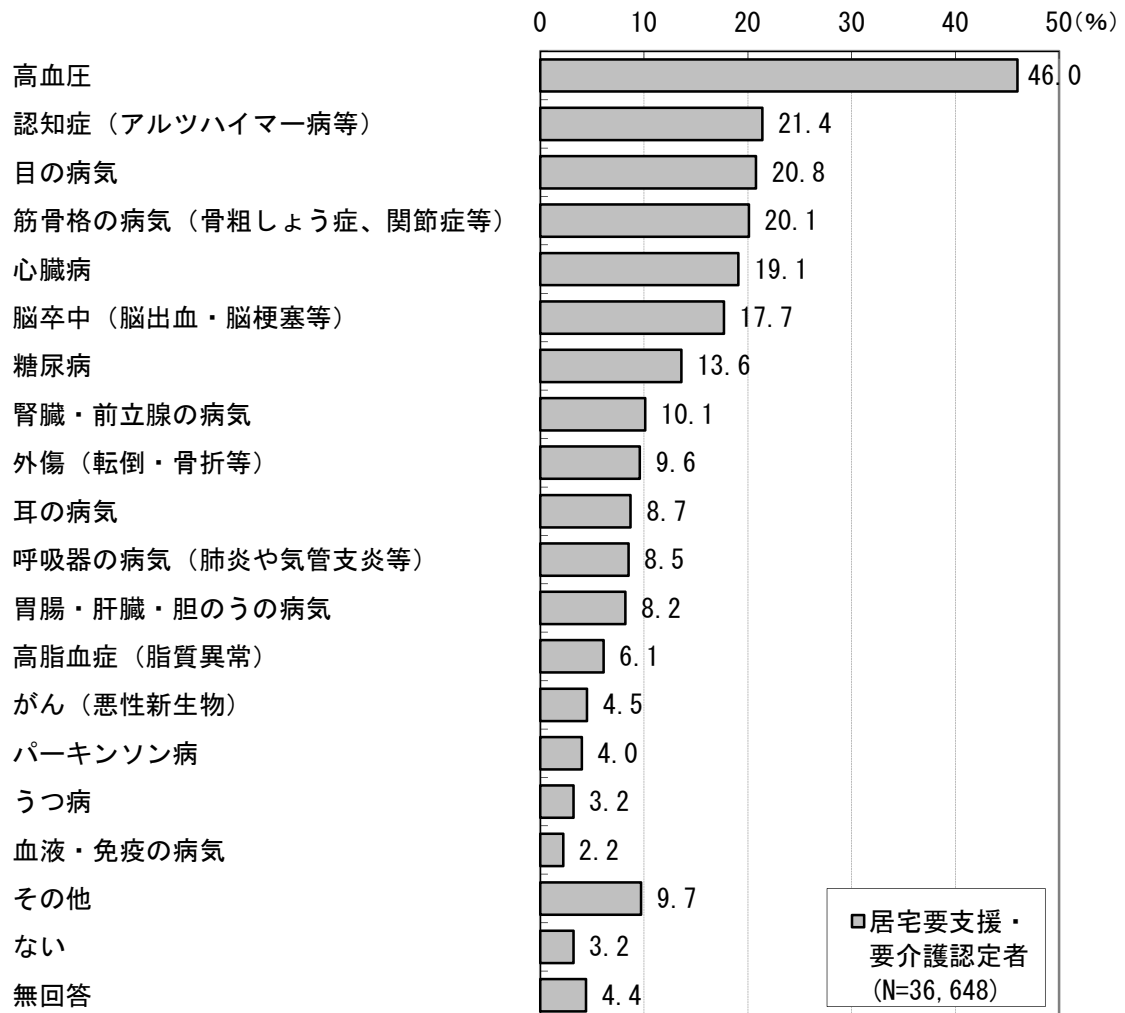


	全体	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点
回答数(人)	36,648	634	588	756	1,922	1,748	10,061
構成比(%)	100.0	1.7	1.6	2.1	5.2	4.8	27.5

	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答	平均
回答数(人)	3,145	3,823	4,797	1,793	3,678	3,703	
構成比(%)	8.6	10.4	13.1	4.9	10.0	10.1	6.13

問 28 治療中や後遺症のある病気やけが（複数回答）

- ・治療中や後遺症のある病気やけがをみると、「高血圧」が4割以上（46.0％）を占め最も多く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」（21.4％）、「目の病気」（20.8％）、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」（20.1％）、「心臓病」（19.1％）の順となっている。

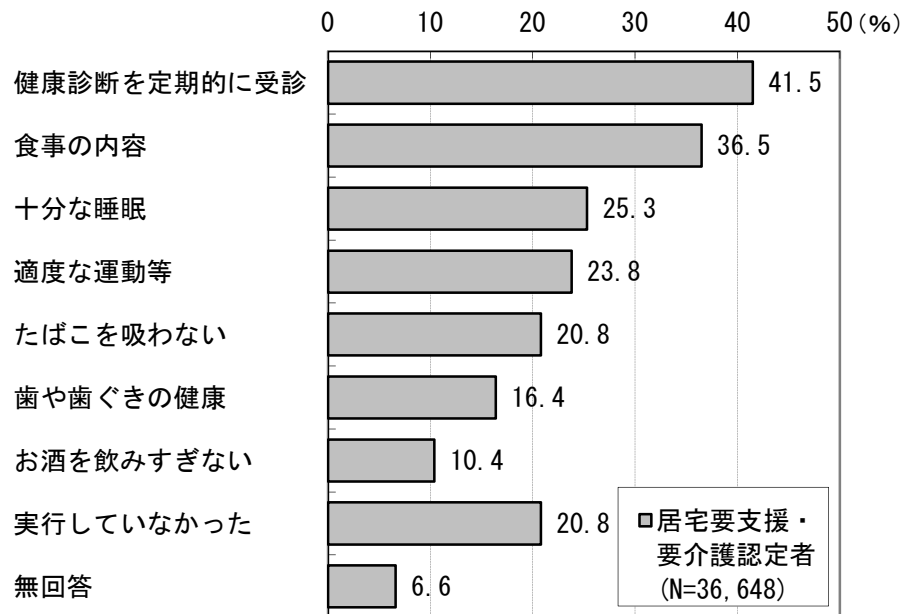


	全体	高血圧	認知症 （アルツハイマー病等）	目の病気	筋骨格の病気 （骨粗しょう症、関節症等）	心臓病	脳卒中 （脳出血・脳梗塞等）	糖尿病	腎臓・前立腺の病気	外傷 （転倒・骨折等）	耳の病気
回答数(人)	36,648	16,841	7,828	7,615	7,367	7,015	6,480	4,977	3,700	3,510	3,204
構成比 (%)	100.0	46.0	21.4	20.8	20.1	19.1	17.7	13.6	10.1	9.6	8.7

	呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	高脂血症（脂質異常）	がん（悪性新生物）	パーキンソン病	うつ病	血液・免疫の病気	その他	ない	無回答
回答数(人)	3,131	2,999	2,235	1,657	1,456	1,177	790	3,557	1,188	1,613
構成比 (%)	8.5	8.2	6.1	4.5	4.0	3.2	2.2	9.7	3.2	4.4

問 29 40 歳以降における健康のための日常生活上の留意点（複数回答）

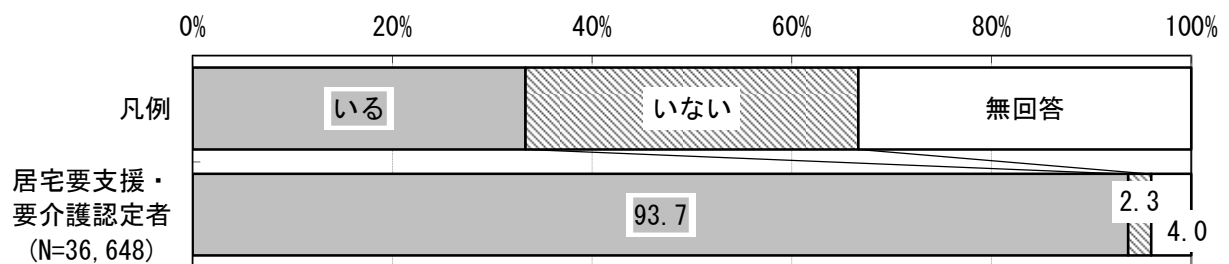
- ・40 歳以降の、日常生活での健康のための行動や留意状況をみると、「健康診断を定期的に受診」が 4 割以上（41.5％）を占め最も多く、次いで「食事の内容」（36.5％）、「十分な睡眠」（25.3％）、「適度な運動等」（23.8％）の順となっている。
- ・一方で、「実行していなかった」が約 2 割（20.8％）となっている。



	全体	健康診断を定期的に受診	食事の内容	十分な睡眠	適度な運動等	たばこを吸わない	歯や歯ぐきの健康	お酒を飲みすぎない	実行していなかった	無回答
回答数(人)	36,648	15,221	13,380	9,256	8,728	7,635	6,023	3,797	7,625	2,414
構成比 (%)	100.0	41.5	36.5	25.3	23.8	20.8	16.4	10.4	20.8	6.6

問 30 かかりつけ医の有無

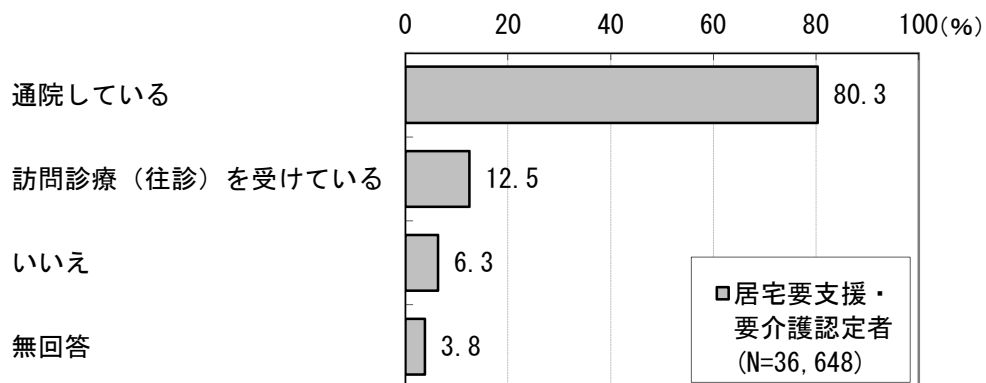
- ・かかりつけ医の有無をみると、「いる」が 9 割以上（93.7％）となっており、「いない」（2.3％）を大幅に上回っている。



	全体	はい	いいえ	無回答
回答数(人)	36,648	34,345	841	1,462
構成比 (%)	100.0	93.7	2.3	4.0

問 31 通院又は訪問診療（往診）の有無（複数回答）

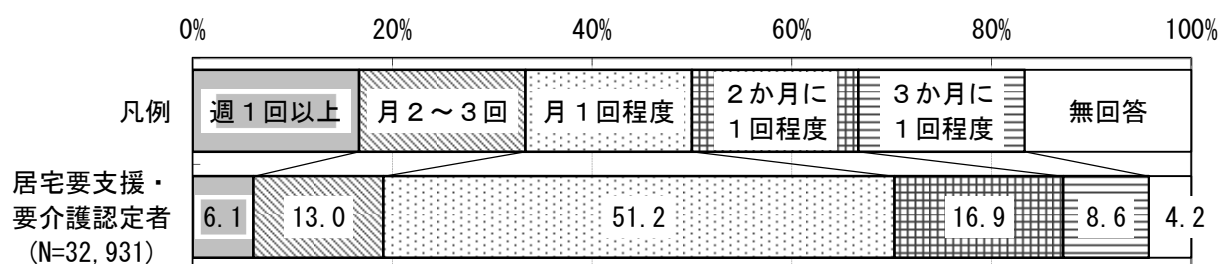
- ・通院又は訪問診療（往診）の状況をみると、「通院している」が約8割（80.3%）と最も多く、次いで「訪問診療（往診）を受けている」（12.5%）となっており、「いいえ（通院していないし、訪問診療（往診）も受けていない）」（6.3%）を大幅に上回っている。



	全体	通院している	訪問診療（往診）を受けている	いいえ	無回答
回答数(人)	36,648	29,419	4,587	2,310	1,407
構成比 (%)	100.0	80.3	12.5	6.3	3.8

問 31-1 （通院又は訪問診療（往診）している方のみ）医療機関への通院頻度

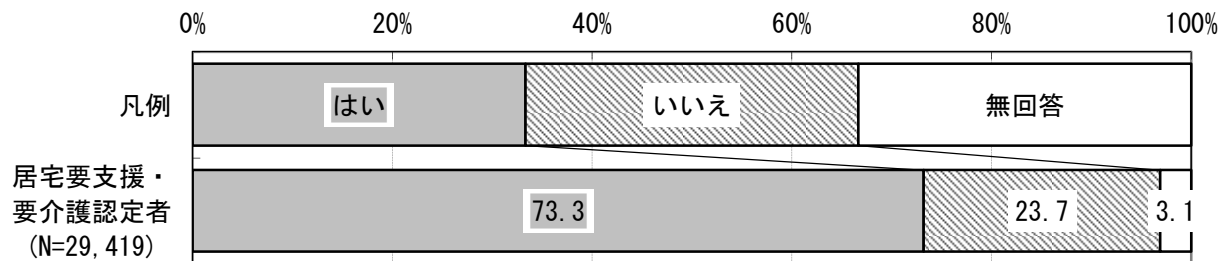
- ・通院又は訪問診療（往診）している方の医療機関への通院頻度をみると、「月1回程度」が半数以上（51.2%）で最も多く、次いで「2か月に1回程度」（16.9%）、「月2～3回」（13.0%）の順となっている。
- ・月1回以上通院している人が約7割（70.3%）となっている。



	全体	週1回以上	月2～3回	月1回程度	2か月に1回程度	3か月に1回程度	無回答
回答数(人)	32,931	1,999	4,277	16,853	5,570	2,836	1,396
構成比 (%)	100.0	6.1	13.0	51.2	16.9	8.6	4.2

問 31-2 （通院している方のみ）通院時の介助（付き添い）の必要性

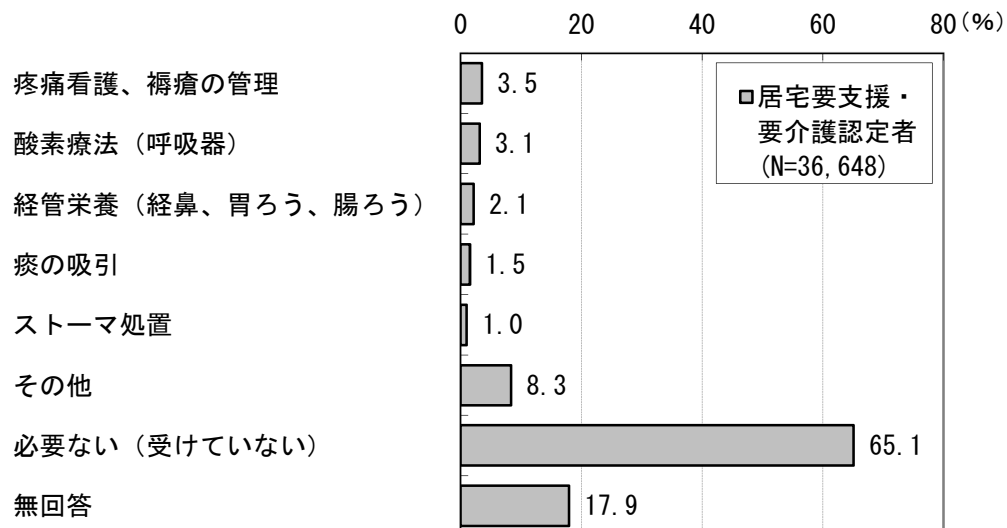
- ・通院している方の通院時の介助（付き添い）の必要性をみると、「はい（介助が必要である）」が7割以上（73.3%）となっており、「いいえ（介助は必要ない）」（23.7%）を大幅に上回っている。



	全体	はい	いいえ	無回答
回答数(人)	29,419	21,556	6,958	905
構成比(%)	100.0	73.3	23.7	3.1

問 32 現在受けている医療的ケア（複数回答）

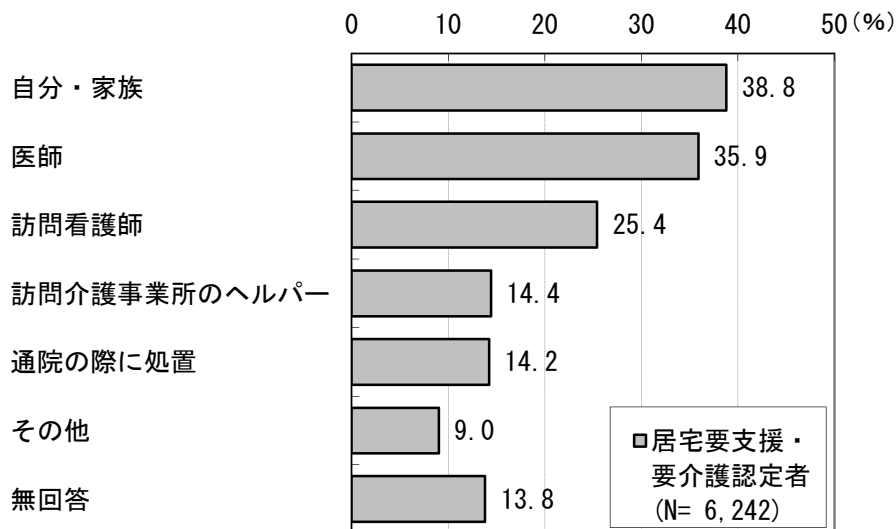
- ・現在受けている医療的ケアをみると、「必要ない（受けていない）」が6割以上（65.1%）を占め最も多くなっているものの、何らかの医療的ケアを受けている人が2割近く（17.0%）となっている。
- ・受けている医療的ケアでは、「疼痛看護、褥瘡の管理」（3.5%）、「酸素療法（呼吸器）」（3.1%）、「経管栄養（経鼻、胃ろう、腸ろう）」（2.1%）の順となっている。



	全体	疼痛看護、褥瘡の管理	酸素療法（呼吸器）	経管栄養（経鼻、胃ろう、腸ろう）	痰の吸引	ストーマ処置	その他	必要ない（受けていない）	無回答
回答数(人)	36,648	1,278	1,120	759	561	354	3,052	23,856	6,550
構成比(%)	100.0	3.5	3.1	2.1	1.5	1.0	8.3	65.1	17.9

問 32-1 （医療的ケアを受けている方のみ）医療的ケアをしている人
（複数回答）

- ・医療的ケアを受けている方の医療的ケアをしている人を見ると、「自分・家族」が4割近く（38.8%）を占め最も多く、次いで「医師」（35.9%）、「訪問看護師」（25.4%）の順となっている。

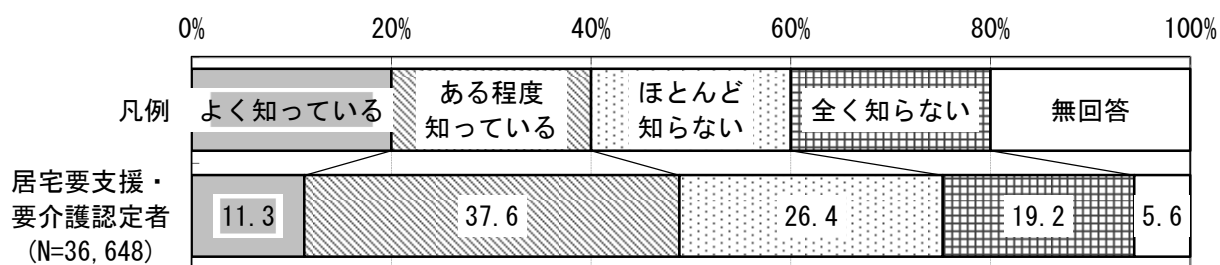


	全体	自分・家族	医師	訪問看護師	訪問介護事業所のヘルパー	通院の際に処置	その他	無回答
回答数(人)	6,242	2,425	2,238	1,585	899	885	560	859
構成比 (%)	100.0	38.8	35.9	25.4	14.4	14.2	9.0	13.8

地域包括支援センターについて

問 33 地域包括支援センターの認知

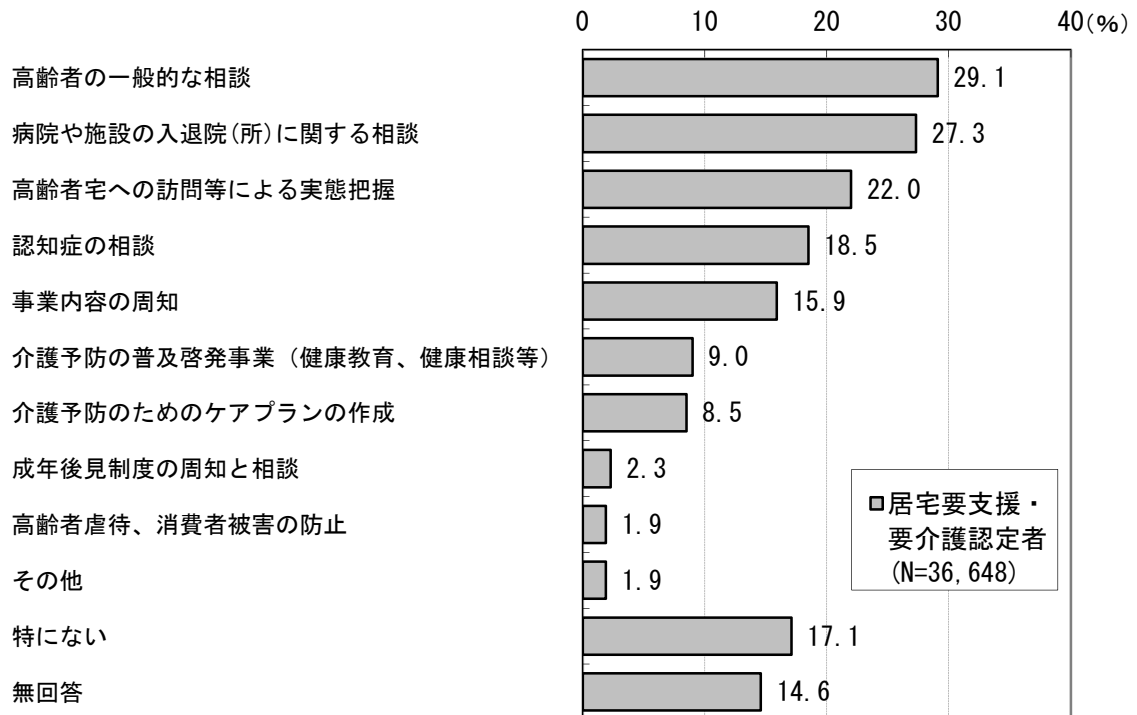
- ・地域包括支援センターの認知状況をみると、「ある程度知っている」が4割近く（37.6%）と最も多く、「よく知っている」（11.3%）と合わせると、地域包括支援センターを『知っている』人は半数近く（48.9%）となっている。
- ・一方、「ほとんど知らない」（26.4%）と「全く知らない」（19.2%）を合わせた『知らない』が4割以上（45.6%）となっており、『知っている』が『知らない』をやや上回っている。



	全体	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない	無回答
回答数(人)	36,648	4,127	13,797	9,662	7,021	2,041
構成比 (%)	100.0	11.3	37.6	26.4	19.2	5.6

問 34 地域包括支援センターに今後力を入れてほしい事業（複数回答）

- ・地域包括支援センターに今後力を入れてほしい事業をみると、「高齢者の一般的な相談」が約3割（29.1%）を占め最も多く、次いで「病院や施設の入退院（所）に関する相談」（27.3%）、「高齢者宅への訪問等による実態把握」（22.0%）の順となっている。



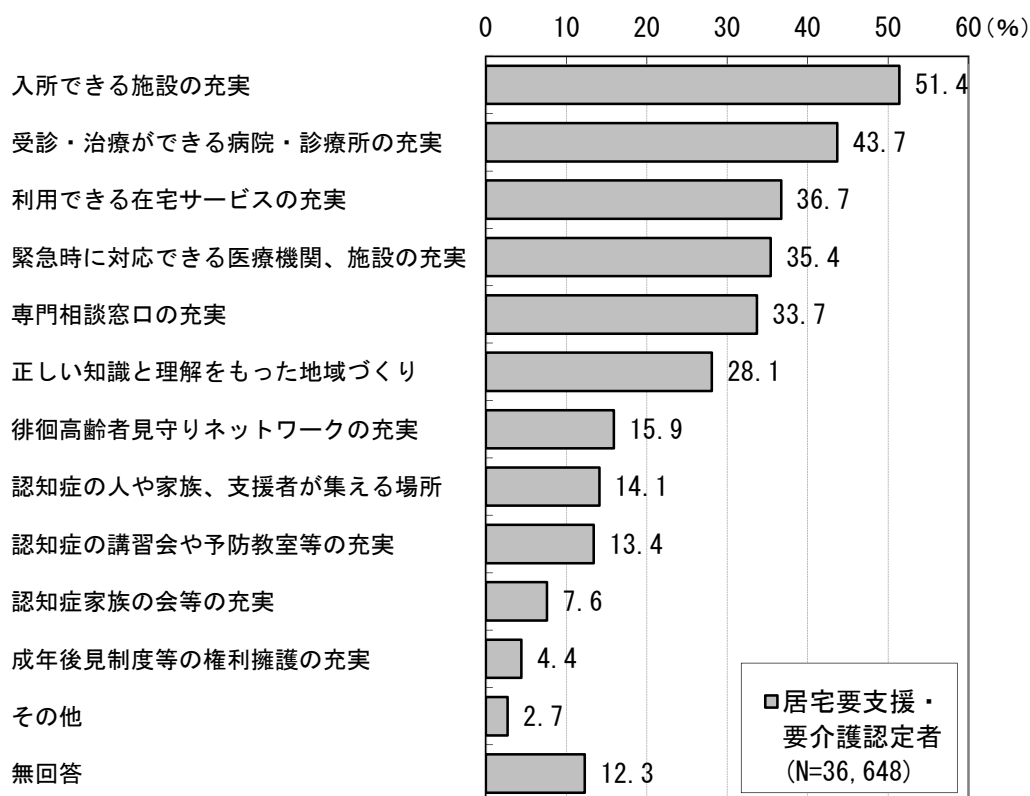
	全体	高齢者の一般的な相談	病院や施設の入退院(所)に関する相談	高齢者宅への訪問等による実態把握	認知症の相談	事業内容の周知	介護予防の普及啓発事業（健康教育、健康相談等）
回答数(人)	36,648	10,679	9,990	8,056	6,775	5,834	3,300
構成比(%)	100.0	29.1	27.3	22.0	18.5	15.9	9.0

	介護予防のためのケアプランの作成	成年後見制度の周知と相談	高齢者虐待、消費者被害の防止	その他	特にない	無回答
回答数(人)	3,114	845	711	690	6,258	5,336
構成比(%)	8.5	2.3	1.9	1.9	17.1	14.6

認知症について

問 35 認知症の方が安心して暮らしていくための施策（複数回答）

- ・認知症の方が安心して暮らしていくための施策をみると、「入所できる施設の充実」が半数以上（51.4%）を占め最も多く、次いで「受診・治療ができる病院・診療所の充実」（43.7%）、「利用できる在宅サービスの充実」（36.7%）、「緊急時に対応できる医療機関、施設の充実」（35.4%）の順となっている。



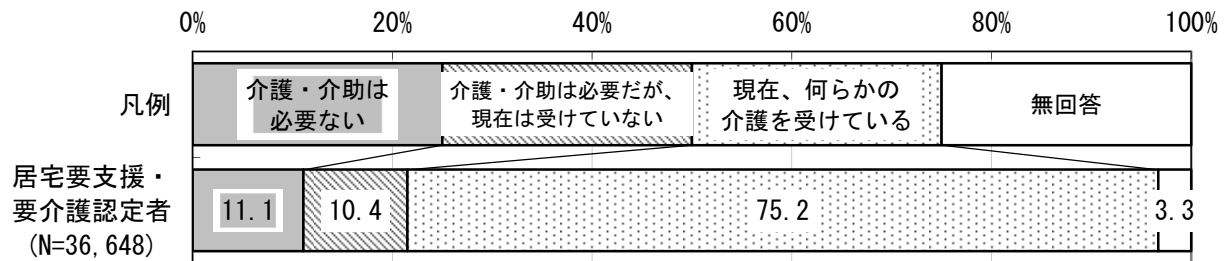
	全体	入所できる施設の充実	受診・治療ができる病院・診療所の充実	利用できる在宅サービスの充実	緊急時に対応できる医療機関、施設の充実	専門相談窓口の充実	正しい知識と理解をもった地域づくり
回答数(人)	36,648	18,843	16,011	13,447	12,988	12,338	10,303
構成比 (%)	100.0	51.4	43.7	36.7	35.4	33.7	28.1

	徘徊高齢者見守りネットワークの充実	認知症カフェなど認知症の人や家族、支援者が集える場所	認知症の講習会や予防教室等の充実	認知症家族の会等の充実	成年後見制度等の権利擁護の充実	その他	無回答
回答数(人)	5,815	5,172	4,903	2,799	1,608	984	4,498
構成比 (%)	15.9	14.1	13.4	7.6	4.4	2.7	12.3

介護サービスの利用について

問 36 日常生活上の介護の必要性

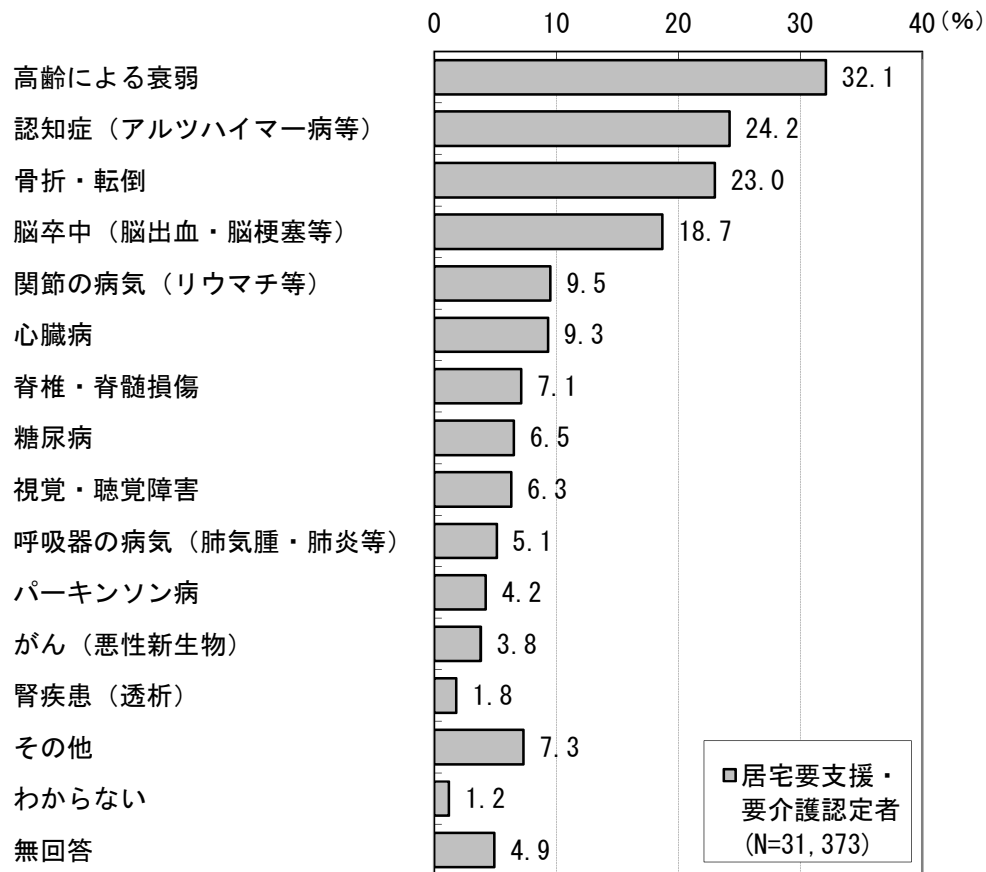
- ・介護・介助の状況をみると、「現在、何らかの介護を受けている」が7割以上（75.2%）と大半を占めている。



	全体	介護・介助は必要ない	介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
回答数(人)	36,648	4,079	3,810	27,563	1,196
構成比(%)	100.0	11.1	10.4	75.2	3.3

問 36-1 （介護が必要な方のみ）介護・介助が必要になった主原因（複数回答）

- ・介護・介助の必要性のある人の、介護・介助が必要になった主原因をみると、「高齢による衰弱」が3割以上（32.1％）を占め最も多く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」（24.2％）、「骨折・転倒」（23.0％）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（18.7％）の順となっている。

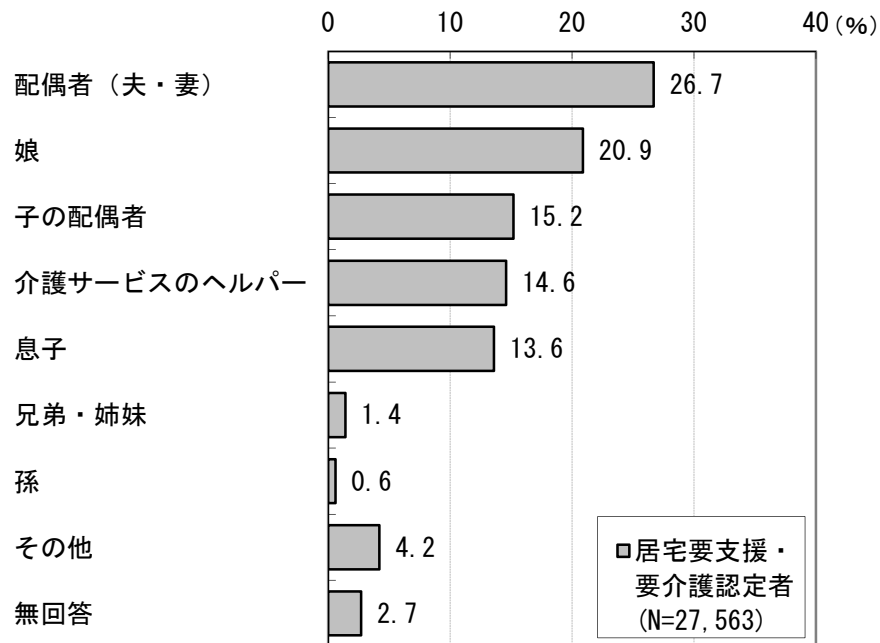


	全体	高齢による衰弱	認知症（アルツハイマー病等）	骨折・転倒	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	関節の病気（リウマチ等）	心臓病	脊椎・脊髄損傷	糖尿病
回答数(人)	31,373	10,069	7,581	7,201	5,879	2,970	2,909	2,241	2,038
構成比(%)	100.0	32.1	24.2	23.0	18.7	9.5	9.3	7.1	6.5

	視覚・聴覚障害	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	パーキンソン病	がん（悪性新生物）	腎疾患（透析）	その他	わからない	無回答
回答数(人)	1,982	1,608	1,327	1,207	562	2,276	374	1,539
構成比(%)	6.3	5.1	4.2	3.8	1.8	7.3	1.2	4.9

問 36-2 （現在、介護を受けている方のみ）主な介護・介助者

- ・現在介護を受けている人の、主な介護・介助者をみると、「配偶者（夫・妻）」が2割以上（26.7%）を占め最も多く、次いで「娘」（20.9%）、「子の配偶者」（15.2%）、「介護サービスのヘルパー」（14.6%）、「息子」（13.6%）の順となっている。

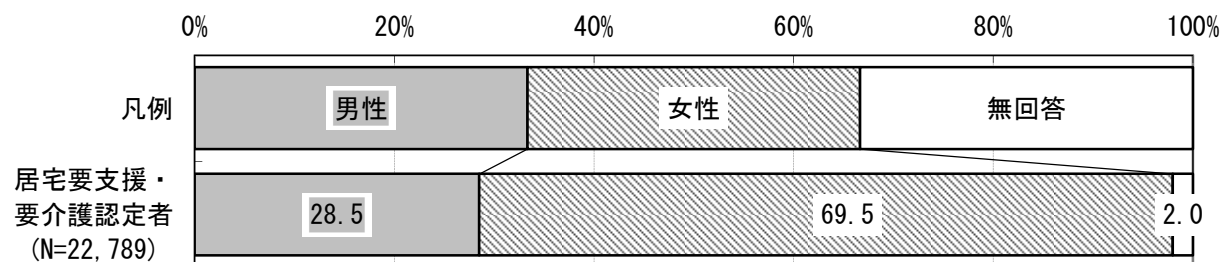


	全体	配偶者 (夫・妻)	娘	子の配 偶者	介護サ ービス のヘル パー	息子	兄弟・ 姉妹	孫	その他	無回答
回答数(人)	27,563	7,368	5,771	4,195	4,019	3,757	379	167	1,152	755
構成比 (%)	100.0	26.7	20.9	15.2	14.6	13.6	1.4	0.6	4.2	2.7

問 36-3 （現在、介護を受けている方のみ）

介護サービスのヘルパーを除く、主な介護・介助者の性別

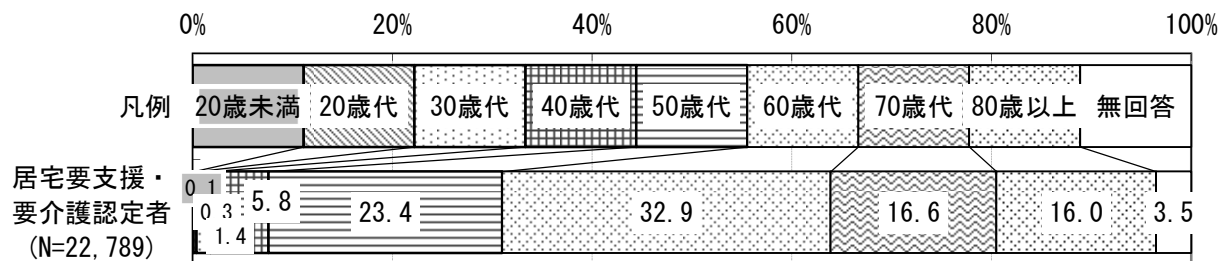
- ・現在介護を受けている人の、介護サービスのヘルパーを除く、主な介護・介助者の性別をみると、「女性」が約7割（69.5%）となっており、「男性」（28.5%）を大幅に上回っている。



	全体	男性	女性	無回答
回答数(人)	22,789	6,496	15,839	454
構成比 (%)	100.0	28.5	69.5	2.0

問 36-4 （現在、介護を受けている方のみ）主な介護・介助者の年齢

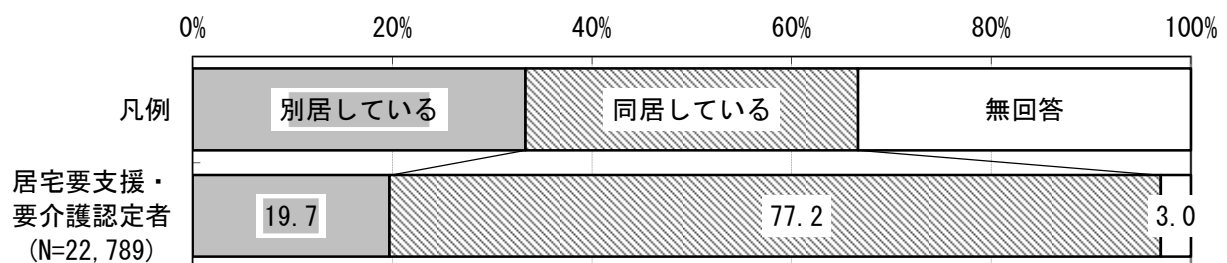
- ・現在介護を受けている人の、主な介護・介助者の年齢をみると、「60 歳代」が3 割以上（32.9%）を占め最も多くなっている。次いで「50 歳代」（23.4%）、「70 歳代」（16.6%）となっており、60 歳以上の介護者が6 割以上（65.5%）となっている。



	全体	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	無回答
回答数(人)	22,789	17	79	330	1,312	5,324	7,505	3,780	3,642	800
構成比 (%)	100.0	0.1	0.3	1.4	5.8	23.4	32.9	16.6	16.0	3.5

問 36-5 （現在、介護を受けている方のみ）主な介護・介助者の同居の有無

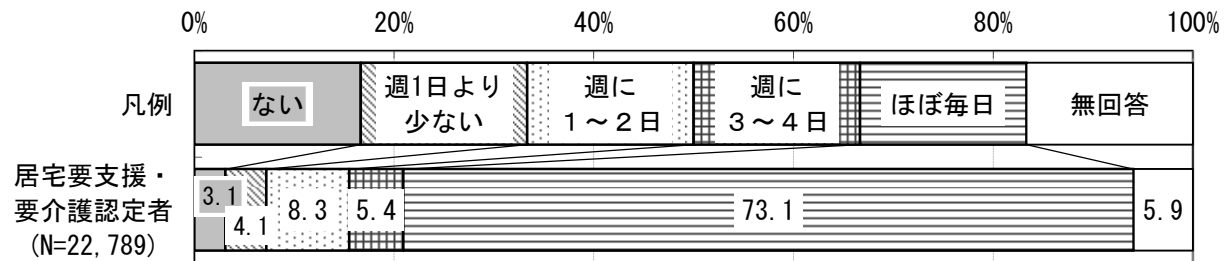
- ・現在介護を受けている人の、主な介護・介助者の同居の有無をみると、「同居している」が8 割近く（77.2%）となっており、「別居している」（19.7%）を大幅に上回っている。



	全体	男性	女性	無回答
回答数(人)	22,789	4,497	17,601	691
構成比 (%)	100.0	19.7	77.2	3.0

問 36-6 （現在、介護を受けている方のみ）家族・親族の介護の頻度

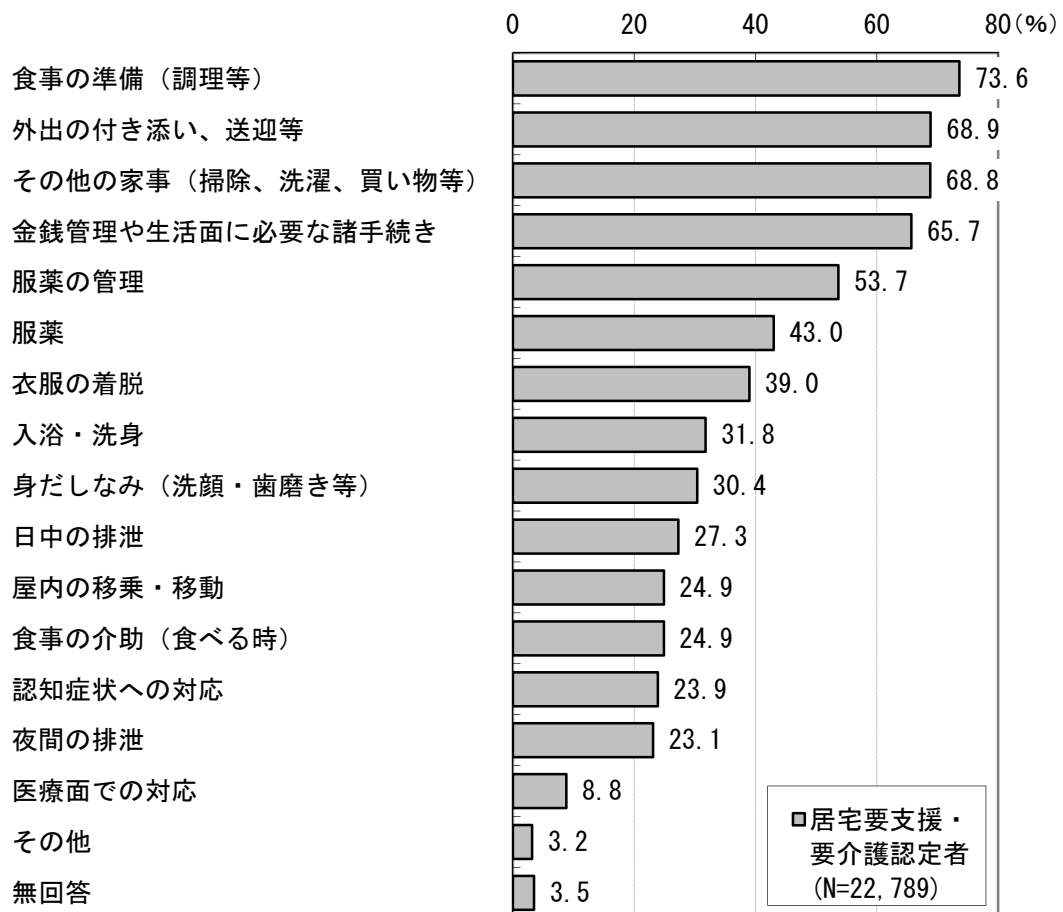
- ・現在介護を受けている人の、家族・親族の介護の頻度をみると、「ほぼ毎日」が7割以上（73.1%）を占め最も多く、次いで「週に1～2日」（8.3%）、「週に3～4日」（5.4%）となっており、週1日以上の頻度で家族・親族からの介護を受けている人が8割以上（86.8%）となっている。



	全体	ない	週1日より少ない	週に1～2日	週に3～4日	ほぼ毎日	無回答
回答数(人)	22,789	712	943	1,899	1,239	16,657	1,339
構成比(%)	100.0	3.1	4.1	8.3	5.4	73.1	5.9

問 36-7 （現在、介護を受けている方のみ）主な介護・介助者が行っている介護
（複数回答）

・現在介護を受けている人の、主な介護・介助者が行っている介護をみると、「食事の準備（調理等）」が7割以上（73.6%）で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（68.9%）、「その他の家事」（68.8%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（65.7%）、「服薬の管理」（53.7%）の順となっている。

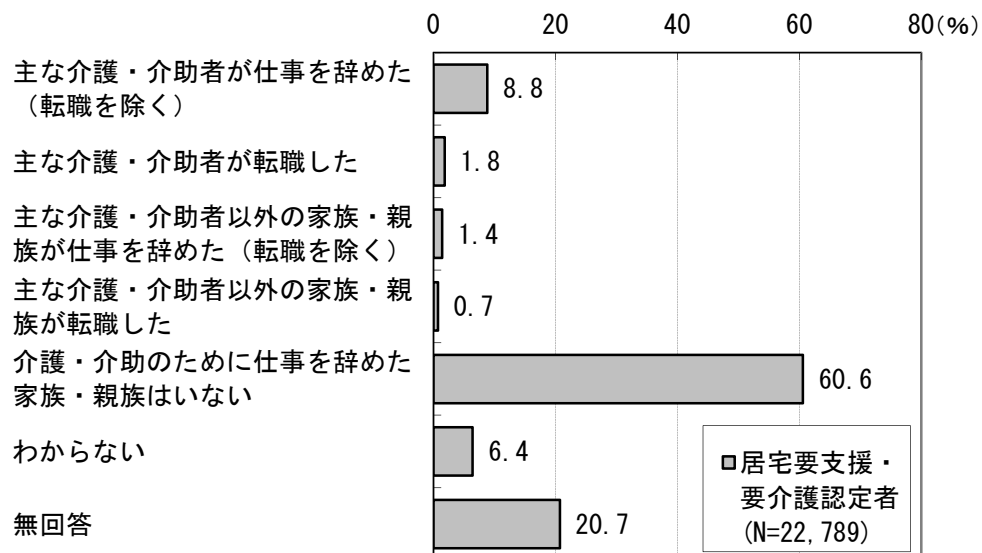


	全体	食事の準備（調理等）	外出の付き添い、送迎等	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	服薬の管理	服薬	衣服の着脱	入浴・洗身
回答数(人)	22,789	16,771	15,699	15,684	14,982	12,238	9,792	8,883	7,236
構成比 (%)	100.0	73.6	68.9	68.8	65.7	53.7	43.0	39.0	31.8

	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	日中の排泄	屋内の移乗・移動	食事の介助（食べる時）	認知症状への対応	夜間の排泄	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	その他	無回答
回答数(人)	6,937	6,212	5,672	5,665	5,442	5,271	2,012	730	788
構成比 (%)	30.4	27.3	24.9	24.9	23.9	23.1	8.8	3.2	3.5

問 37 介護・介助を理由として、過去 1 年間に仕事を辞めたり、転職した家族や親族の有無（複数回答）

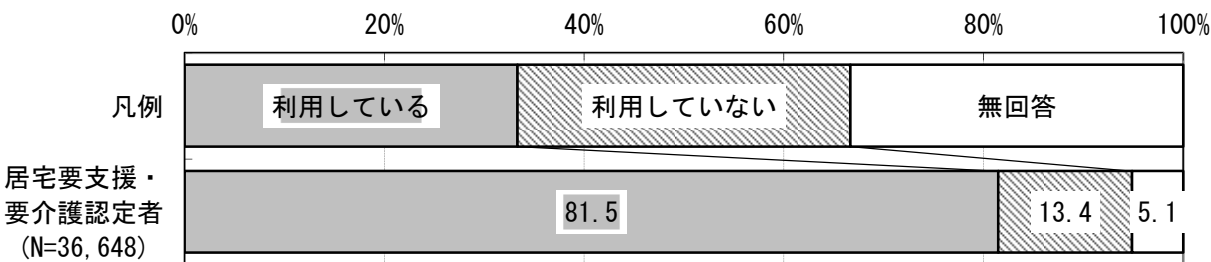
- ・介護・介助を理由として、過去 1 年間に仕事を辞めたり、転職した家族や親族の有無をみると、「介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約 6 割（60.6％）を占め最も多く、介護・介助のために退職・転職した家族や親族がいる人が 1 割以上（12.3％）となっている。
- ・退職・転職をした家族や親族がいる人では、「主な介護・介助者が仕事を辞めた（転職を除く）」が 1 割近く（8.8％）となっている。



	全体	主な介護・介助者が仕事を辞めた（転職を除く）	主な介護・介助者が転職した	主な介護・介助者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職を除く）	主な介護・介助者以外の家族・親族が転職した	介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
回答数(人)	22,789	2,005	418	325	152	13,820	1,449	4,713
構成比 (%)	100.0	8.8	1.8	1.4	0.7	60.6	6.4	20.7

問 38 介護保険サービスの利用状況

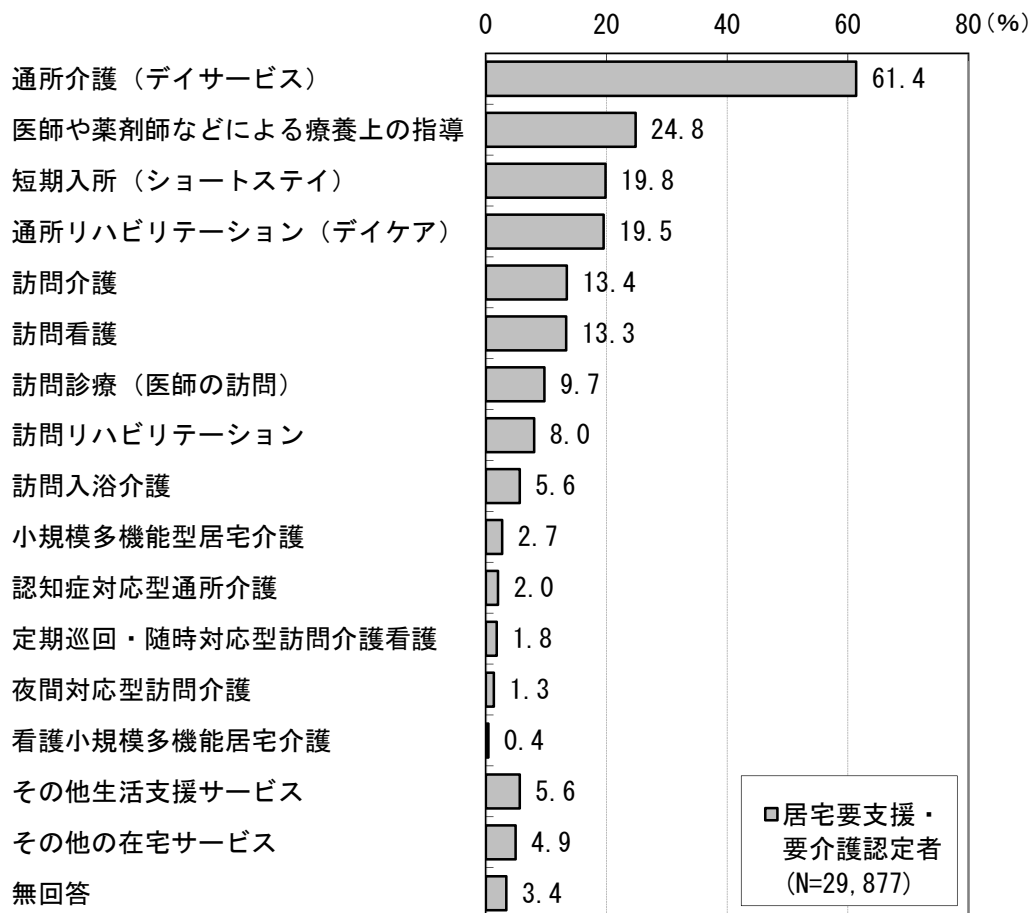
- ・介護保険サービスの利用状況をみると、「利用している」が8割以上（81.5％）となっており、「利用していない」（13.4％）を大幅に上回っている。



	全体	利用している	利用していない	無回答
回答数(人)	36,648	29,877	4,893	1,878
構成比(%)	100.0	81.5	13.4	5.1

問 38-1 （介護保険サービスを利用している方のみ）利用している在宅サービス
（複数回答）

- ・介護保険サービスを利用している人の利用している在宅サービスの種類をみると、「通所介護（デイサービス）」が6割以上（61.4%）を占め最も多く、次いで「医師や薬剤師などによる療養上の指導」（24.8%）、「短期入所（ショートステイ）」（19.8%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（19.5%）の順となっている。



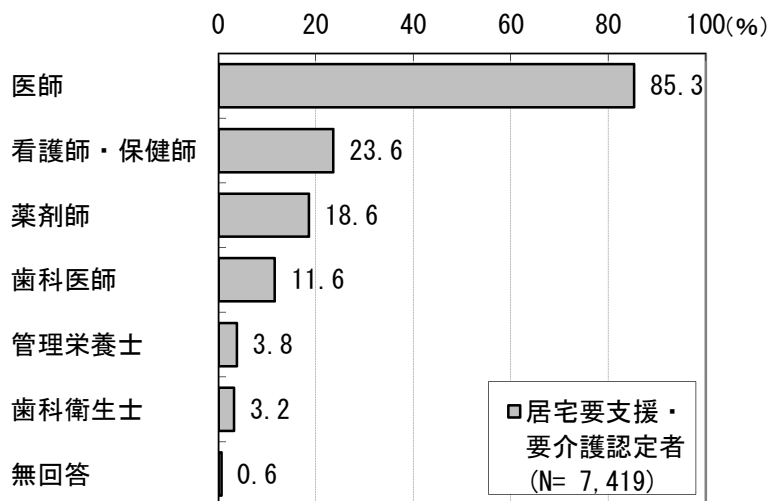
	全体	通所介護 （デイサ ービス）	医師や 薬剤師な どによる 療養上の 指導	短期入所 （ショ ートステ イ）	通所リハ ビリテー ション （デイケ ア）	訪問介護	訪問看護	訪問診療 （医師の 訪問）	訪問リハ ビリテー ション
回答数(人)	29,877	18,346	7,419	5,907	5,831	4,005	3,959	2,895	2,395
構成比 (%)	100.0	61.4	24.8	19.8	19.5	13.4	13.3	9.7	8.0

	訪問入 浴介護	小規模多 機能型居 宅介護	認知症対 応型通所 介護	定期巡回 ・随時対 応型訪問 介護看護	夜間 対応型 訪問介護	看護小規 模多機能 居宅介護	その他 生活支援 サービス	その他の 在宅サー ビス	無回答
回答数(人)	1,671	805	597	537	392	126	1,664	1,475	1,020
構成比 (%)	5.6	2.7	2.0	1.8	1.3	0.4	5.6	4.9	3.4

問 38-2 （居宅療養管理指導を利用している方のみ）

管理指導をしている人（職種）（複数回答）

- ・居宅療養管理指導を利用している方の管理指導している人（職種）をみると、「医師」が8割以上（85.3%）を占め最も多く、次いで「看護師・保健師」（23.6%）、「薬剤師」（18.6%）、「歯科医師」（11.6%）の順となっている。

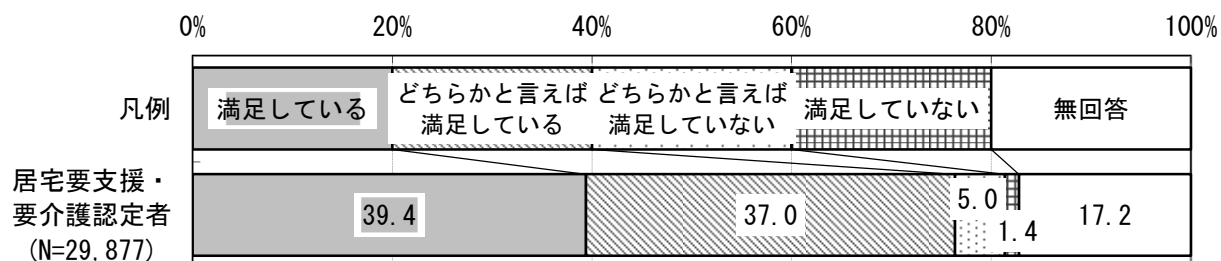


	全体	医師	看護師・保健師	薬剤師	歯科医師	管理栄養士	歯科衛生士	無回答
回答数(人)	7,419	6,326	1,754	1,383	859	279	235	47
構成比 (%)	100.0	85.3	23.6	18.6	11.6	3.8	3.2	0.6

問 38-3 （介護保険サービスを利用している方のみ）

利用している介護保険サービスの満足度

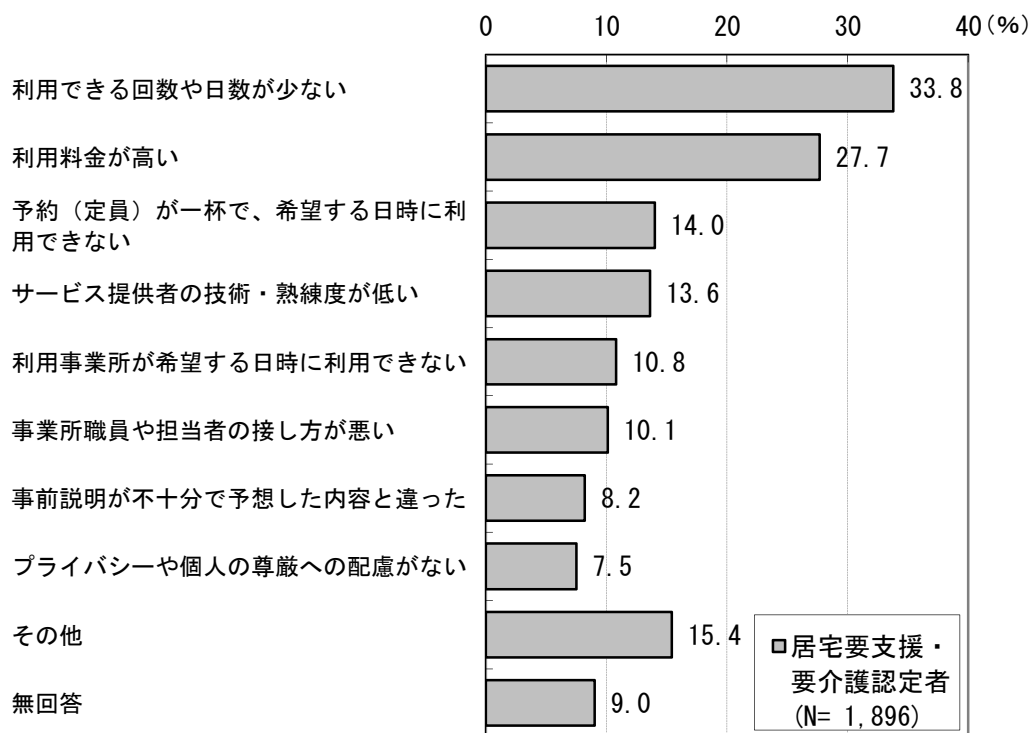
- ・介護保険サービスを利用している人のサービスに対する満足度をみると、「満足している」が約4割（39.4%）を占め最も多く、次いで「どちらかと言えば満足している」（37.0%）となっており、『満足している』が7割以上（76.4%）となっている。
- ・一方で、「どちらかと言えば満足していない」（5.0%）と「満足していない」（1.4%）を合わせた『満足していない』が1割近く（6.4%）となっている。



	全体	満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば満足していない	満足していない	無回答
回答数(人)	29,877	11,780	11,069	1,482	414	5,132
構成比 (%)	100.0	39.4	37.0	5.0	1.4	17.2

問 38-4 （利用している介護保険サービスに満足していない方のみ）不満な点
（複数回答）

- ・利用している介護保険サービスに満足していない人の不満な点をみると、「利用できる回数や日数が少ない」が3割以上（33.8%）を占め最も多く、次いで「利用料金が高い」（27.7%）、「予約（定員）が一杯で、希望する日時に利用できない」（14.0%）、「サービス提供者の技術・熟練度が低い」（13.6%）の順となっている。



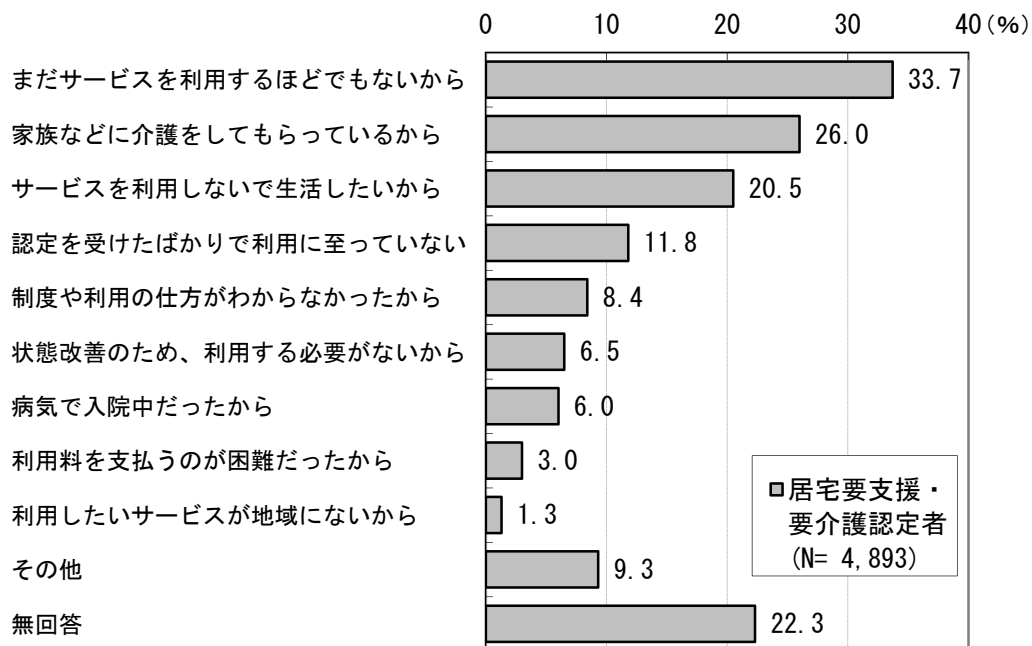
	全体	利用できる回数や日数が少ない	利用料金が 高い	予約（定員） が一杯で、 希望する日 時に利用で きない	サービス提 供者の技 術・熟練度 が低い	利用事業所 が希望する 日時に利用 できない
回答数(人)	1,896	640	526	266	257	205
構成比(%)	100.0	33.8	27.7	14.0	13.6	10.8

	事業所職員 や担当者の 接し方が悪 い	事前の説明 が不十分 で、予想し た内容と違 った	プライバシ ーや個人の 尊厳への配 慮がない	その他	無回答
回答数(人)	192	155	143	292	170
構成比(%)	10.1	8.2	7.5	15.4	9.0

問 38-5 （介護保険サービスを利用していない方のみ）

介護保険サービスを利用しない理由（複数回答）

- ・介護保険サービスを利用していない人の利用していない理由をみると、「要介護（支援）認定を受けたが、特にまだサービスを利用するほどでもないから」が3割以上（33.7%）を占め最も多く、次いで「家族などに介護をしてもらっているから」（26.0%）、「できるだけサービスを利用しないで生活したいから」（20.5%）、「認定を受けたばかりで利用に至っていない」（11.8%）の順となっている。

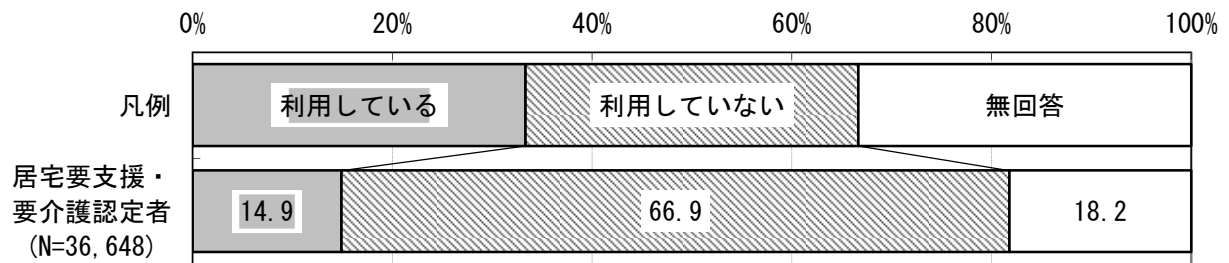


	全体	まだサービスを利用するほどでもないから	家族などに介護をしてもらっているから	できるだけサービスを利用しないで生活したいから	認定を受けたばかりで利用に至っていない	制度や利用の仕方がわからなかったから
回答数(人)	4,893	1,648	1,270	1,003	576	411
構成比 (%)	100.0	33.7	26.0	20.5	11.8	8.4

	状態改善のため、利用する必要がないから	病気で入院中だったから	利用料を支払うのが困難だったから	利用したいサービスが地域にないから	その他	無回答
回答数(人)	320	295	149	65	454	1,093
構成比 (%)	6.5	6.0	3.0	1.3	9.3	22.3

問 39 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

- ・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、「利用していない」が6割以上(66.9%)となっており、「利用している」(14.9%)を大幅に上回っている。

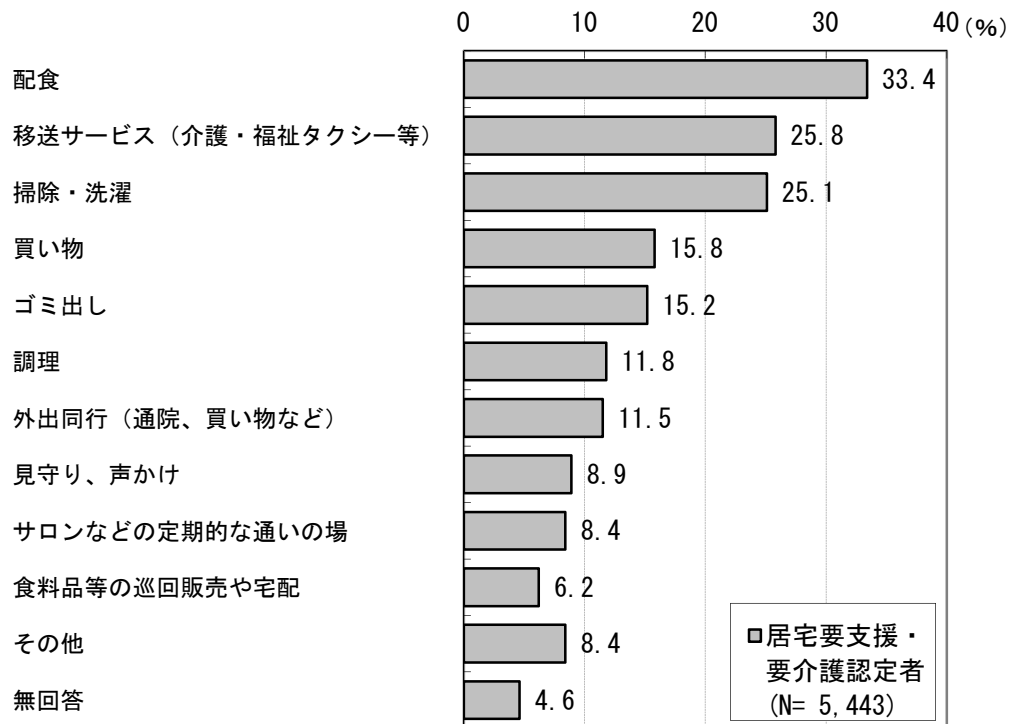


	全体	利用している	利用していない	無回答
回答数(人)	36,648	5,443	24,524	6,681
構成比(%)	100.0	14.9	66.9	18.2

問 39-1 （介護保険サービス以外の支援・サービスを利用している方のみ）

利用している支援・サービス（複数回答）

- ・介護保険サービス以外の支援・サービスを利用している人の利用している支援・サービスをみると、「配食」が3割以上（33.4%）を占め最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（25.8%）、「掃除・洗濯」（25.1%）、「買い物」（15.8%）、「ゴミ出し」（15.2%）の順となっている。

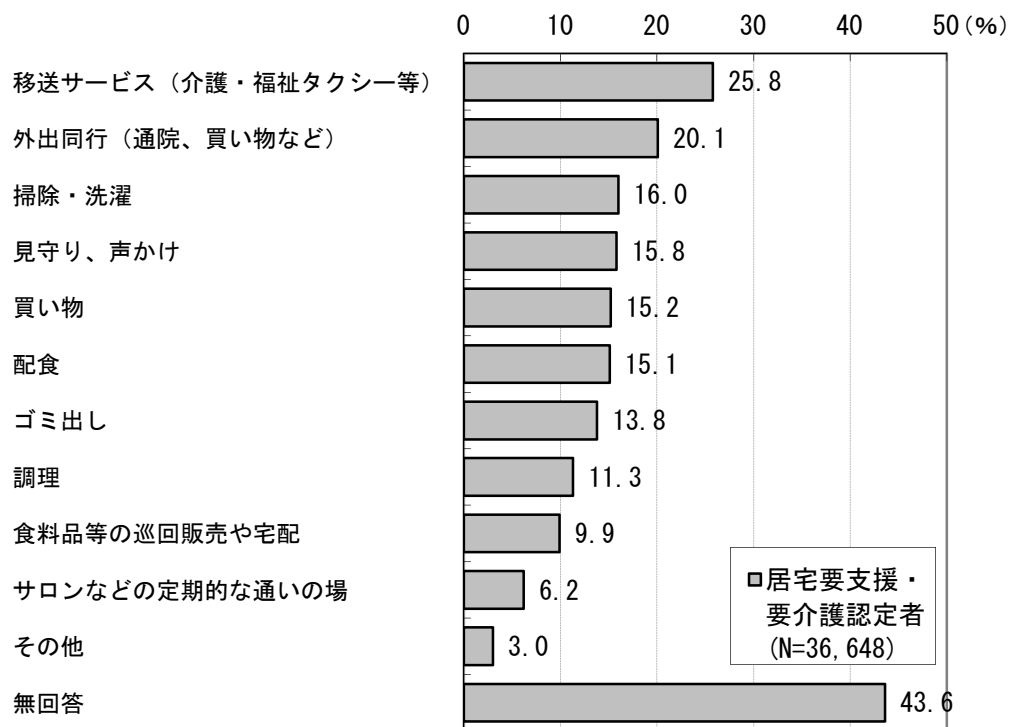


	全体	配食	移送サービス （介護・福祉タクシー等）	掃除・洗濯	買い物	ゴミ出し	調理
回答数(人)	5,443	1,817	1,404	1,366	862	829	644
構成比 (%)	100.0	33.4	25.8	25.1	15.8	15.2	11.8

	外出同行 （通院、買い物など）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	食料品等の巡回販売や宅配	その他	無回答
回答数(人)	626	486	457	336	458	249
構成比 (%)	11.5	8.9	8.4	6.2	8.4	4.6

問 40 今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数回答）

- ・今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が2割以上（25.8%）を占め最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（20.1%）、「掃除・洗濯」（16.0%）、「見守り、声かけ」（15.8%）、「買い物」（15.2%）の順となっている。

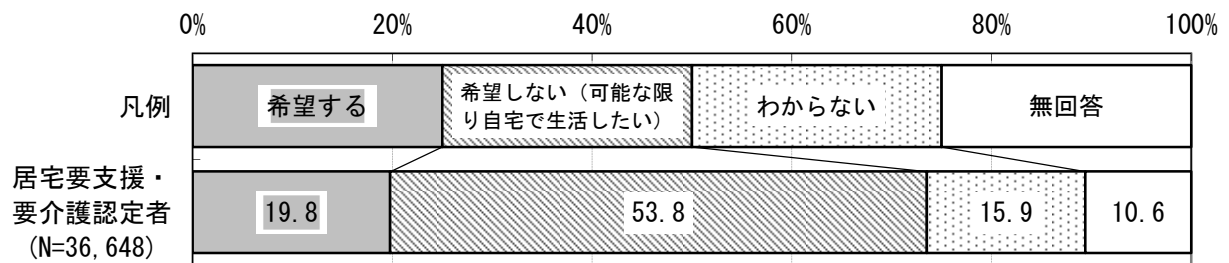


	全体	移送サービス （介護・福祉タクシー等）	外出同行 （通院、買い物など）	掃除・洗濯	見守り、声かけ	買い物	配食
回答数(人)	36,648	9,445	7,380	5,878	5,779	5,578	5,527
構成比(%)	100.0	25.8	20.1	16.0	15.8	15.2	15.1

	ゴミ出し	調理	食料品等の巡回販売や宅配	サロンなどの定期的な通いの場	その他	無回答
回答数(人)	5,060	4,126	3,622	2,267	1,106	15,965
構成比(%)	13.8	11.3	9.9	6.2	3.0	43.6

問 41 自宅以外の施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）意向

- ・自宅以外の施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）意向をみると、「希望しない（可能な限り自宅で生活したい）」が半数以上（53.8％）を占め最も多く、施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）を希望する人は約２割（19.8％）となっている。

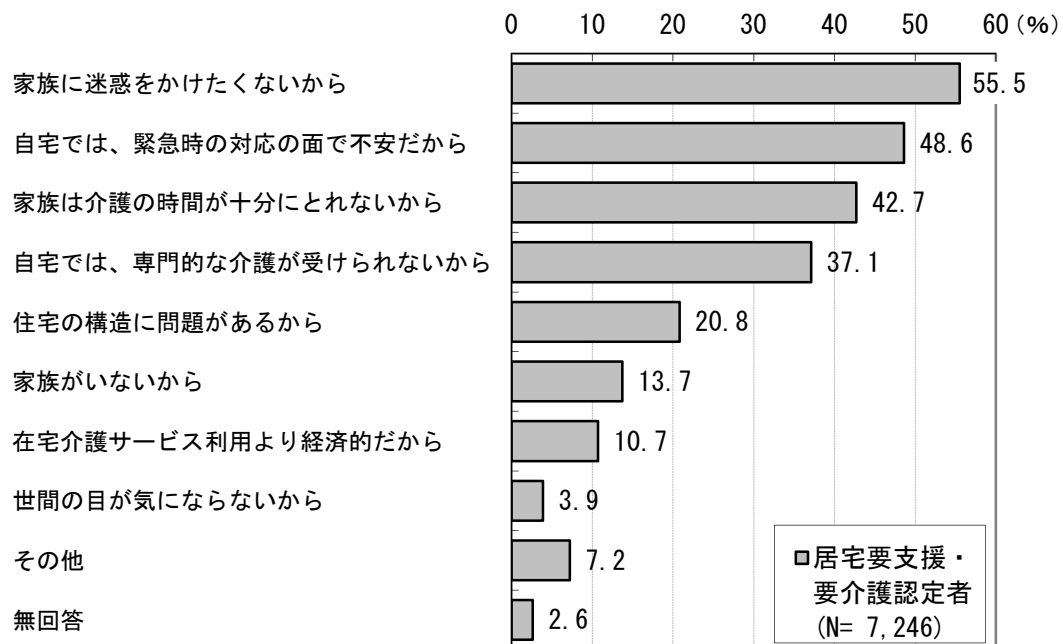


	全体	希望する	希望しない（可能な限り自宅で生活したい）	わからない	無回答
回答数(人)	36,648	7,246	19,701	5,809	3,892
構成比(%)	100.0	19.8	53.8	15.9	10.6

問 41-1 （施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）を希望する方のみ）

施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）を希望する理由（複数回答）

- ・施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）を希望する理由をみると、「家族に迷惑をかけたくないから」が半数以上（55.5%）を占め最も多く、次いで「自宅では、緊急時の対応の面で不安だから」（48.6%）、「家族は介護の時間が十分にとれないから」（42.7%）、「自宅では、認知症対応やリハビリなど専門的な介護が受けられないから」（37.1%）の順となっている。

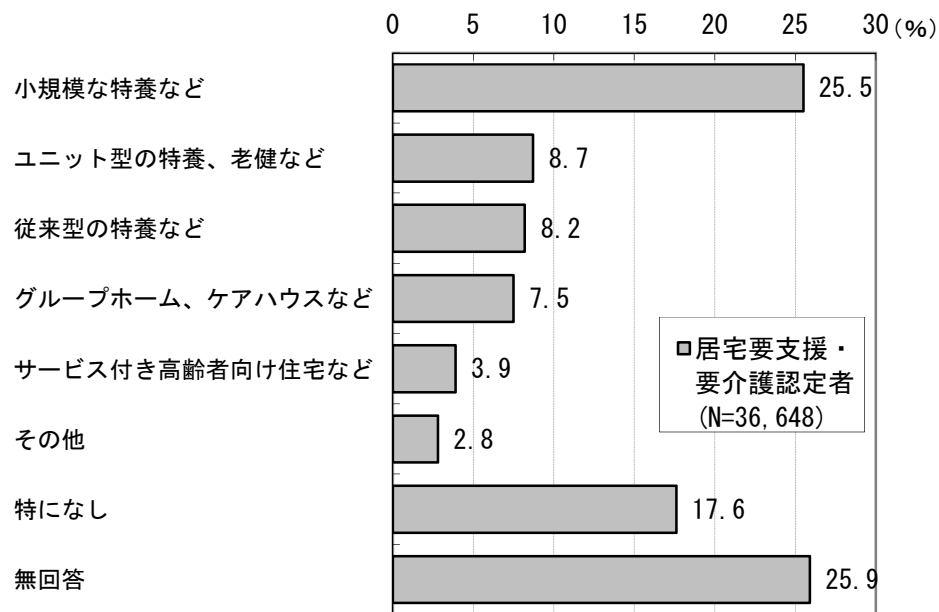


	全体	家族に迷惑をかけたくないから	自宅では、急な容態変化や介護者の都合など緊急時の対応の面で不安だから	家族は介護の時間が十分にとれないから	自宅では、認知症対応やリハビリなど専門的な介護が受けられないから	住宅の構造に問題があるから
回答数(人)	7,246	4,022	3,521	3,092	2,686	1,510
構成比(%)	100.0	55.5	48.6	42.7	37.1	20.8

	家族がいないから	在宅で介護サービスを利用するより、諸々の費用を考えると経済的だから	自宅でなく離れた場所にある施設なら世間の目が気にならないから	その他	無回答
回答数(人)	994	777	279	524	190
構成比(%)	13.7	10.7	3.9	7.2	2.6

問 42 入所（入居）を希望する「施設」や「高齢者向けの住まい」の形態

- ・入所（入居）を希望する「施設」や「高齢者向けの住まい」の形態をみると、「住み慣れた地域や自宅近くで常時介護が受けられ、小規模で家庭的な雰囲気の個室の施設（小規模な特養など）」が2割以上（25.5%）を占め最も多く、その他の施設形態に比べて突出して高い割合となっている。
- ・次いで、「常時介護が受けられ、施設の規模は大きくても、少人数ごとに家庭的な生活を送れる個室の施設（ユニット型の特養、老健など）」（8.7%）の順となっている。

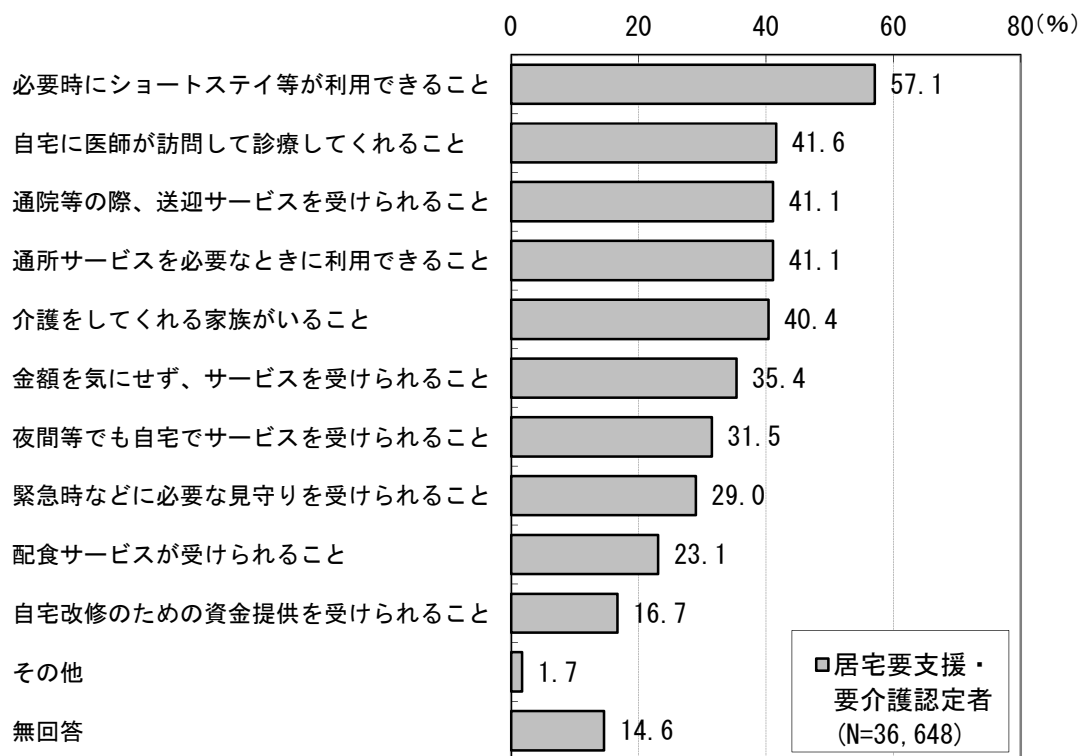


	全体	住み慣れた地域や自宅近くで常時介護が受けられ、小規模で家庭的な雰囲気の個室の施設（小規模な特養など）	常時介護が受けられ、施設の規模は大きくても、少人数ごとに家庭的な生活を送れる個室の施設（ユニット型の特養、老健など）	常時介護が受けられる大規模な施設で、個室に比べて利用料金が比較的低額な相部屋（4人1部屋程度）の多い施設（従来型の特養など）	一人暮らしの不安や身体・認知機能の低下を補うため、高齢者が必要に応じて介護を受けながら生活する小規模施設（グループホーム、ケアハウスなど）
回答数(人)	36,648	9,329	3,206	3,016	2,732
構成比 (%)	100.0	25.5	8.7	8.2	7.5

	主に高齢者を入居者とし、希望に応じて食事や清掃などのサービスが提供される集合住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など）	その他	特になし（施設や住まいの形態は問わない方も含む）	無回答
回答数(人)	1,417	1,013	6,437	9,498
構成比 (%)	3.9	2.8	17.6	25.9

問 43 ずっと自宅で暮らし続けるためにあれば良いと思う支援（複数回答）

- ・ずっと自宅で暮らし続けるためにあれば良いと思う支援をみると、「緊急時など、必要なときにショートステイや宿泊サービスが利用できること」が6割近く（57.1%）を占め最も多く、次いで「自宅に医師が訪問して診療してくれること」（41.6%）、「通院などの際、送迎サービスを受けられること」及び「デイサービスなどの通所サービスを必要なときに利用できること」（41.1%）、「介護をしてくれる家族がいること」（40.4%）の順となっている。

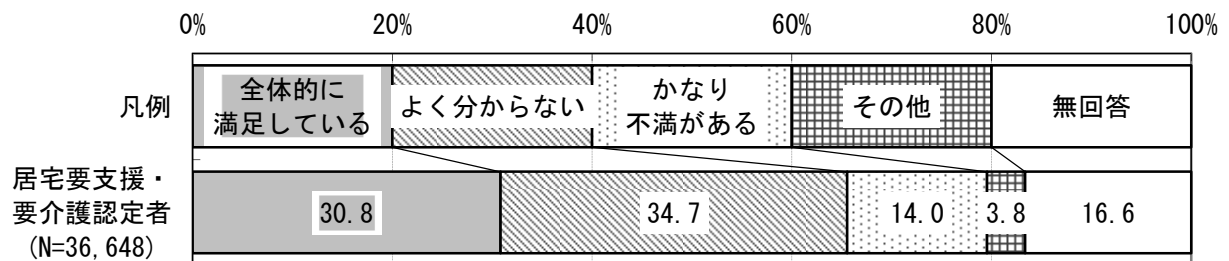


	全体	緊急時など、必要なときにショートステイや宿泊サービスが利用できること	自宅に医師が訪問して診療してくれること	通院などの際、送迎サービスを受けられること	デイサービスなどの通所サービスを必要なときに利用できること	介護をしてくれる家族がいること	要介護度によって決められている金額を気にせずに、必要な分だけサービスを受けられること
回答数(人)	36,648	20,923	15,251	15,051	15,047	14,816	12,969
構成比 (%)	100.0	57.1	41.6	41.1	41.1	40.4	35.4

	夜間や休日にも、自宅で介護や看護のサービスを受けられること	緊急時などに必要な見守りを受けられること	配食サービスを受けられること	自宅を改修するための資金提供を受けられること	その他	無回答
回答数(人)	11,534	10,618	8,482	6,104	610	5,352
構成比 (%)	31.5	29.0	23.1	16.7	1.7	14.6

問 44 介護保険制度に対する評価

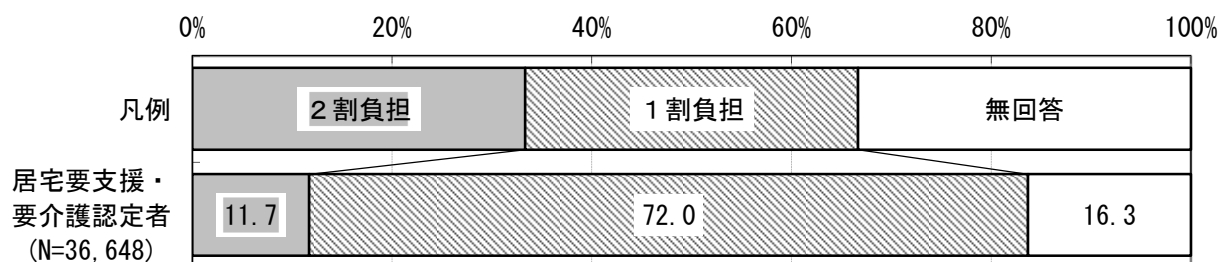
- ・介護保険制度に対する評価をみると、「本人や家族の負担が軽減されるなど、全体的に満足している」が約3割（30.8％）と、「本人や家族の負担が増加するなど、かなり不満がある」（14.0％）を大幅に上回っている。



	全体	本人や家族の負担が軽減されるなど、全体的に満足している	本人や家族の負担があまり変わらず、よく分からない	本人や家族の負担が増加するなど、かなり不満がある	その他	無回答
回答数(人)	36,648	11,303	12,728	5,133	1,397	6,087
構成比 (%)	100.0	30.8	34.7	14.0	3.8	16.6

問 45 介護保険サービス利用料の自己負担割合

- ・介護保険サービス利用料の自己負担割合をみると、「1割負担」が7割以上（72.0％）を占め、「2割負担」は約1割（11.7％）となっている。

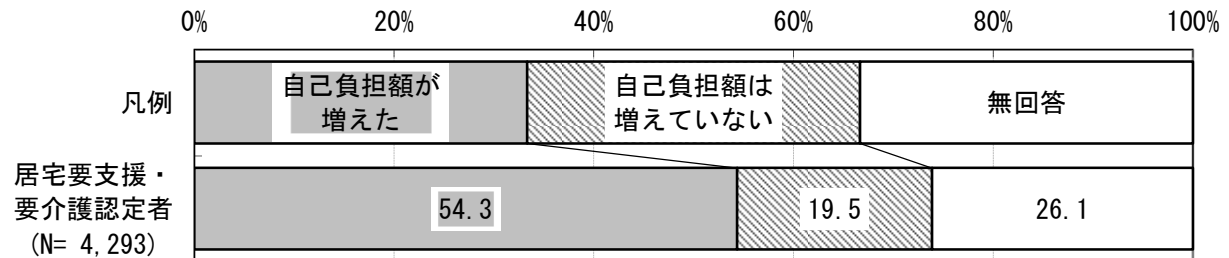


	全体	2割負担	1割負担	無回答
回答数(人)	36,648	4,293	26,369	5,986
構成比 (%)	100.0	11.7	72.0	16.3

問 45-1 （介護保険サービス利用料の自己負担割合が2割負担の方のみ）

2割負担になったことによる利用料の自己負担額の変化

- ・介護保険サービス利用料の自己負担割合が2割負担の方の2割負担になったことでの利用料の自己負担額の変化をみると、「自己負担額が増えた」が半数以上（54.3%）となっており、「自己負担額は増えていない」（19.5%）を大幅に上回っている。

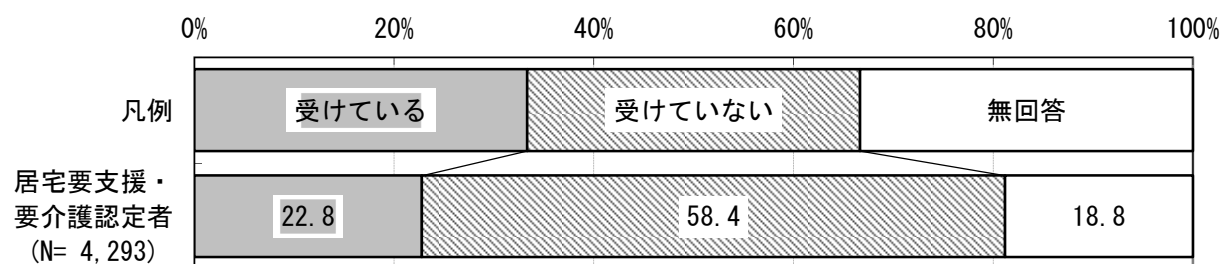


	全体	自己負担額が増えた	自己負担額は増えていない	無回答
回答数(人)	4,293	2,333	838	1,122
構成比(%)	100.0	54.3	19.5	26.1

問 45-2 （介護保険サービス利用料の自己負担割合が2割負担の方のみ）

高額介護サービス費支給の有無

- ・介護保険サービス利用料の自己負担割合が2割負担の方の高額介護サービス費支給の有無をみると、「受けていない」が6割近く（58.4%）となっており、「受けている」（22.8%）を大幅に上回っている。

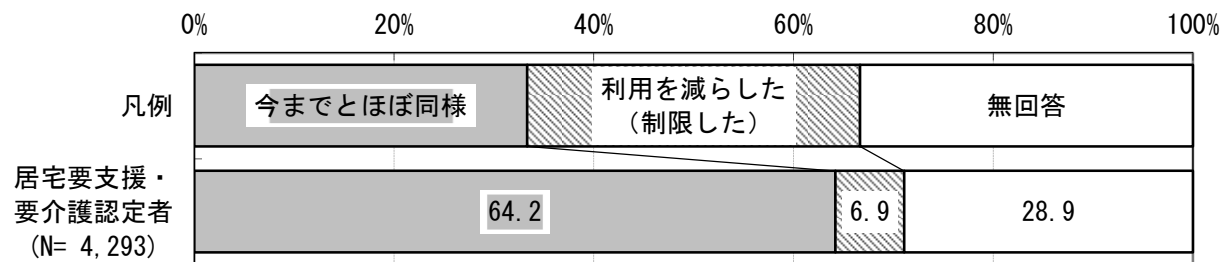


	全体	受けている	受けていない	無回答
回答数(人)	4,293	977	2,509	807
構成比(%)	100.0	22.8	58.4	18.8

問 45-3 （介護保険サービス利用料の自己負担割合が2割負担の方のみ）

2割負担になったことによる介護保険サービス利用の変化

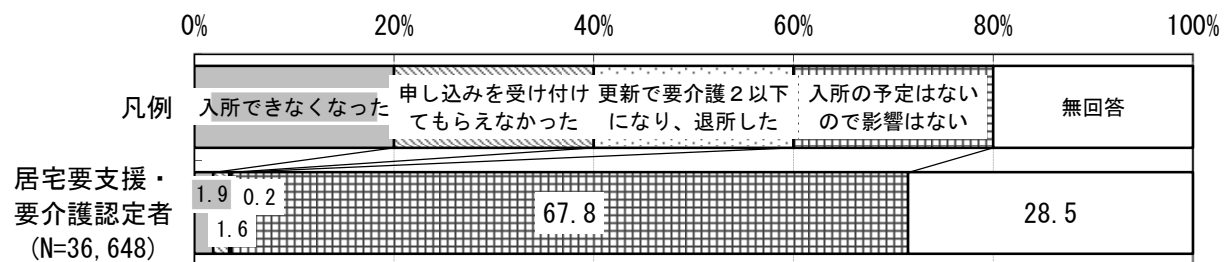
- ・介護保険サービス利用料の自己負担割合が2割負担の方の2割負担になったことでの介護保険サービス利用の変化をみると、「今までとほぼ同様の介護保険サービスを利用している」が6割以上（64.2%）を占め、「介護保険サービスの利用を減らした（制限した）」は1割未満（6.9%）となっている。



	全体	今までとほぼ同様の介護保険サービスを利用している	介護保険サービスの利用を減らした（制限した）	無回答
回答数(人)	4,293	2,757	297	1,239
構成比(%)	100.0	64.2	6.9	28.9

問 46 特別養護老人ホーム入所が原則要介護3以上の方となった影響

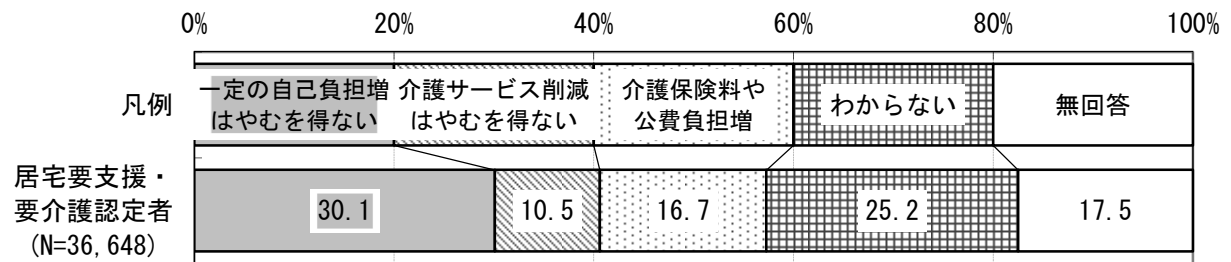
- ・特別養護老人ホーム入所が原則要介護3以上の方となった影響をみると、「今のところ、入所の予定はないので影響はない」が7割近く（67.8%）と大半を占めており、何かしら影響のあった人は1割未満となっている。



	全体	入所を予定（申込み）していたが、入所できなくなった	入所の申し込みをしたが、要介護度が低いため、申し込みを受け付けてもらえなかった	要介護認定の更新で要介護2以下になったため、退所した	今のところ、入所の予定はないので影響はない	無回答
回答数(人)	36,648	688	599	73	24,856	10,432
構成比(%)	100.0	1.9	1.6	0.2	67.8	28.5

問 47 一定以上の所得がある方の介護保険サービス利用時の自己負担を2割とする制度改正に対する考え方

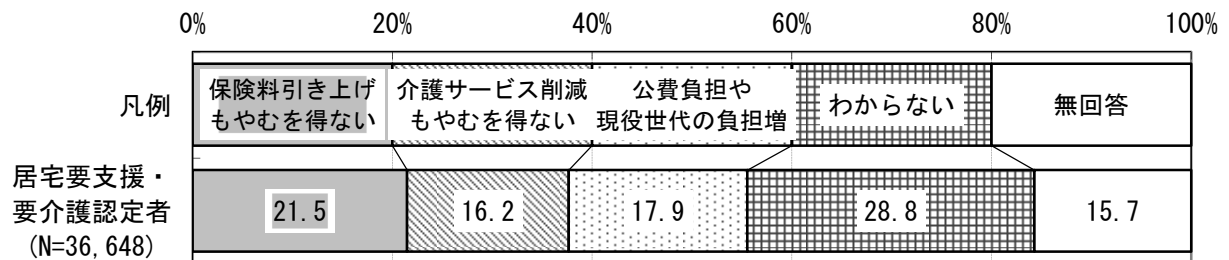
- 一定以上の所得がある方の介護保険サービス利用時の自己負担を2割とする制度改正に対する考え方をみると、「一定の自己負担の増はやむを得ない（仕方ない）」が約3割（30.1%）を占め最も多く、「介護保険料や公費負担を増額して、利用者負担は増えないようにする方がよい」（10.5%）と「介護保険サービスが削減されても、利用者負担は増えない方がよい」（16.7%）を合わせた『自己負担が増えない方がよい』（27.2%）を上回っている。



	全体	一定の自己負担の増はやむを得ない（仕方ない）	介護保険サービスが削減されても、利用者負担は増えない方がよい	介護保険料や公費負担を増額して、利用者負担は増えないようにする方がよい	わからない	無回答
回答数(人)	36,648	11,018	3,855	6,132	9,242	6,401
構成比(%)	100.0	30.1	10.5	16.7	25.2	17.5

問 48 介護保険のサービスと保険料の関係に対する考え方

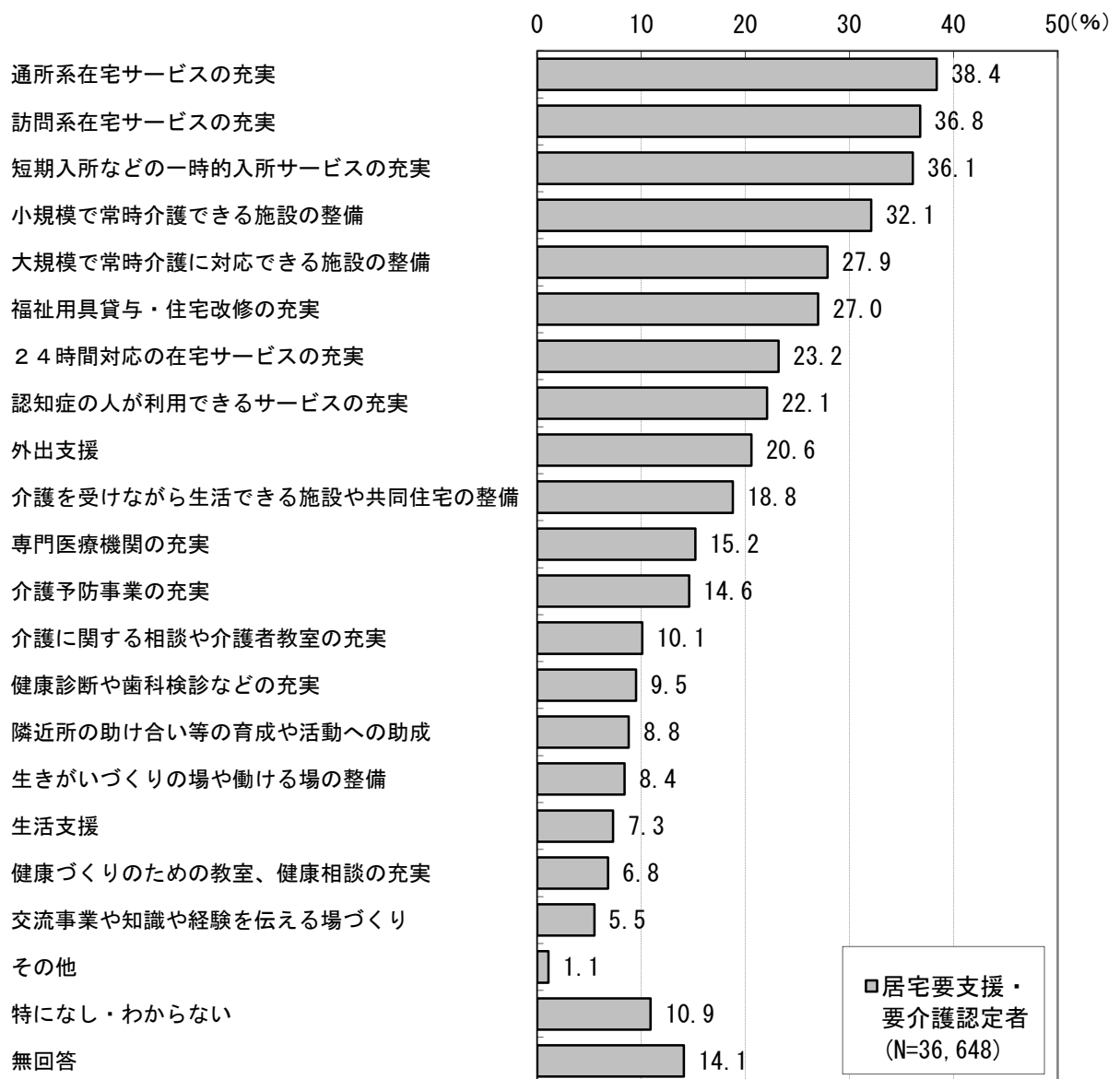
- ・介護保険のサービスと保険料の関係に対する考え方をみると、「現在の介護保険サービスを維持・充実するために、介護保険料が高くなってもやむを得ない」が2割以上（21.5%）を占めているものの、「公費負担や現役世代の負担を増やして、高齢者の介護保険料は高くないようにする方がよい」が2割近く（17.9%）、「介護保険サービスが削減されても、介護保険料は高くない方がよい」が1割上（16.2%）となっている。



	全体	現在の介護保険サービスを維持・充実するために、介護保険料が高くなってもやむを得ない	介護保険サービスが削減されても、介護保険料は高くない方がよい	公費負担や現役世代の負担を増やして、高齢者の介護保険料は高くないようにする方がよい	わからない	無回答
回答数(人)	36,648	7,873	5,919	6,558	10,540	5,758
構成比(%)	100.0	21.5	16.2	17.9	28.8	15.7

問 49 今後、介護や高齢者に必要な施策（複数回答）

- ・今後、介護に必要な施策をみると、「自宅での生活が継続できるよう、通所介護・通所リハビリなど通所系在宅サービスの充実」が4割近く（38.4%）を占め最も多く、次いで「自宅生活が継続できるよう、訪問介護・訪問看護・訪問リハビリなど訪問系在宅サービスの充実」（36.8%）、「自宅での生活が継続できるよう、短期入所などの一時的入所サービスの充実」（36.1%）の順となっており、施設整備に比べて、自宅での生活を継続するための各種サービスの充実を望む人が多い。



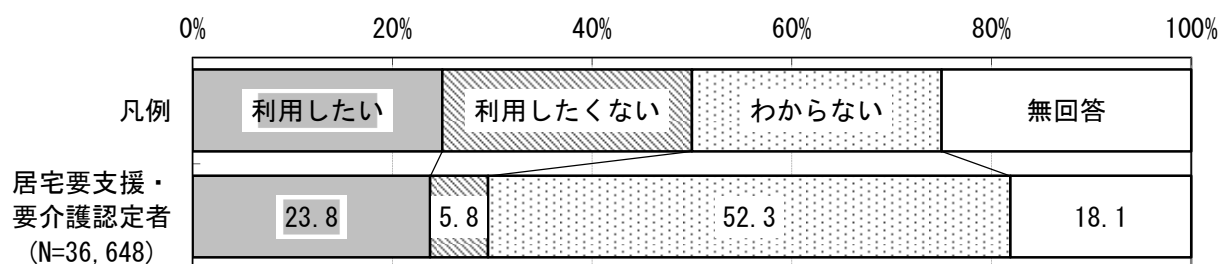
	全体	自宅での生活が継続できるよう、通所介護・通所リハビリなど通所系在宅サービスの充実	自宅での生活が継続できるよう、訪問介護・訪問看護・訪問リハビリなど訪問系在宅サービスの充実	自宅での生活が継続できるよう、短期入所などの一時的入所サービスの充実	29人以下の特別養護老人ホームや認知症グループホームなど、小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など、大規模で常時介護に対応できる施設の整備	自宅での生活が継続できるよう、福祉用具貸与・住宅改修の充実	自宅での生活が継続できるよう、24時間対応の在宅サービスの充実
回答数(人)	36,648	14,078	13,479	13,217	11,768	10,225	9,912	8,505
構成比(%)	100.0	38.4	36.8	36.1	32.1	27.9	27.0	23.2

	認知症の人が利用できるサービスの充実	外出支援（公共交通機関を利用する際の助成、移送サービスなど）	ケアハウス・有料老人ホームなど、それぞれの高齢者が、必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備	認知症疾患医療センター等の専門医療機関の充実	介護予防事業（寝たきり予防、認知症予防など）の充実	介護に関する相談や介護者教室の充実	健康診断や歯科検診などの充実	隣近所の助け合い等の育成や活動への助成
回答数(人)	8,117	7,562	6,889	5,581	5,364	3,693	3,490	3,221
構成比(%)	22.1	20.6	18.8	15.2	14.6	10.1	9.5	8.8

	生きがいづくりの場や働ける場の整備	生活支援（問39-1に具体例）	健康づくりのための教室、健康相談の充実	世代間の交流事業や高齢者の知識や経験を伝える場づくり	その他	特になし・わからない	無回答
回答数(人)	3,084	2,676	2,491	2,008	421	4,007	5,181
構成比(%)	8.4	7.3	6.8	5.5	1.1	10.9	14.1

問 50 ①定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向

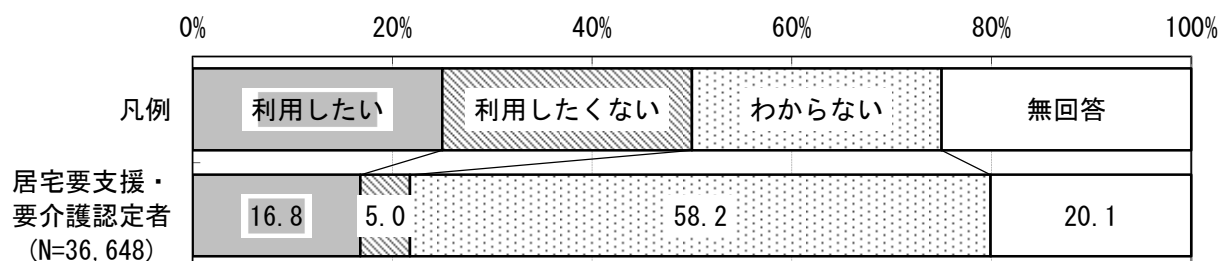
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向をみると、「利用したい」が2割以上（23.8％）を占め、「利用したくない」（5.8％）を大幅に上回っている。



	全体	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
回答数(人)	36,648	8,710	2,135	19,153	6,650
構成比(%)	100.0	23.8	5.8	52.3	18.1

問 50 ②看護小規模多機能型居宅介護の利用意向

- ・看護小規模多機能型居宅介護の利用意向をみると、「利用したい」が1割以上（16.8％）を占め、「利用したくない」（5.0％）を大幅に上回っている。
- ・①定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向と比較すると、やや利用意向は低くなっている。

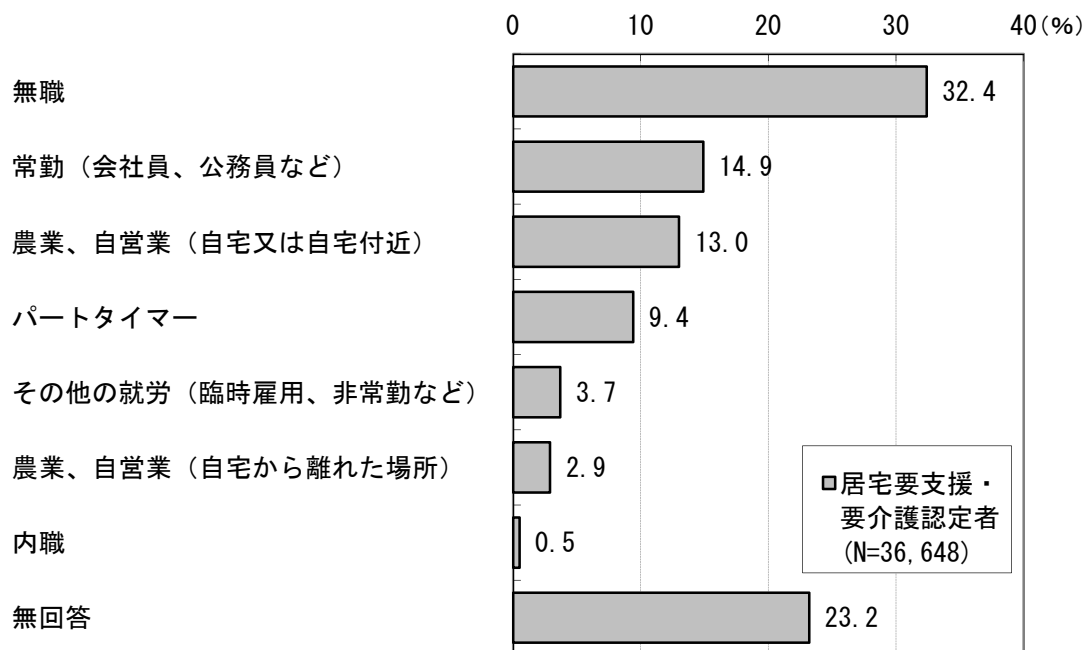


	全体	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
回答数(人)	36,648	6,151	1,835	21,312	7,350
構成比(%)	100.0	16.8	5.0	58.2	20.1

介護者の状況について

問 51 主な介護者の現在の仕事の状況

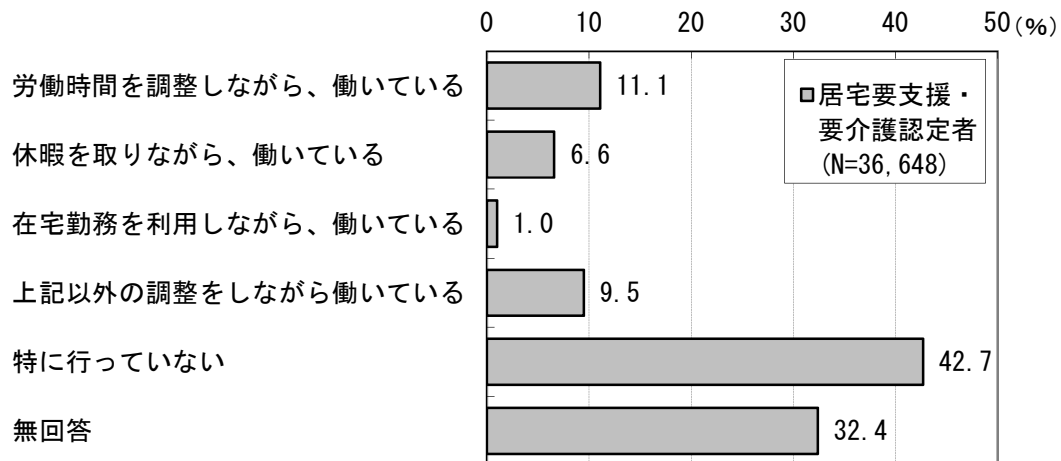
- ・主な介護者の現在の仕事の状況をみると、「無職」が3割以上（32.4％）を占め最も多く、次いで「常勤（会社員、公務員など）」（14.9％）、「農業、自営業（働いている場所が自宅又は自宅付近）」（13.0％）の順となっており、就労している人（無職及び無回答を除いた割合）は4割以上（44.4％）となっている。



	全体	無職	常勤 （会社 員、公 務員な ど）	農業、 自営業 （自宅 又は自 宅付 近）	パート タイマ ー	その他 の就労 （臨時 雇用、 非常勤 など）	農業、 自営業 （自宅 から離 れた場 所）	内職	無回答
回答数(人)	36,648	11,860	5,447	4,760	3,436	1,373	1,062	194	8,516
構成比 (%)	100.0	32.4	14.9	13.0	9.4	3.7	2.9	0.5	23.2

問 52 介護・介助をするにあたっての働き方についての調整等（複数回答）

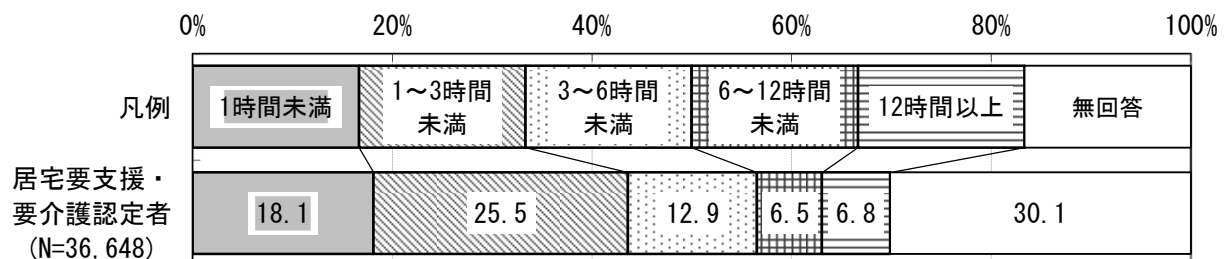
- ・介護・介助をするにあたっての働き方についての調整等をみると、「特に行っていない」が4割以上（42.7%）で最も多くなっているものの、「労働時間を調整しながら働いている」が1割以上（11.1%）となっており、働き方の調整等をしている人は2割以上となっている。



	全体	介護・介助のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	介護・介助のために、「休暇」を取りながら、働いている	介護・介助のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護・介助のために、左記以外の調整をしながら、働いている	特に行っていない	無回答
回答数(人)	36,648	4,068	2,421	374	3,486	15,638	11,861
構成比 (%)	100.0	11.1	6.6	1.0	9.5	42.7	32.4

問 53 主な介護者の方が介護にかけている1日当たりの時間

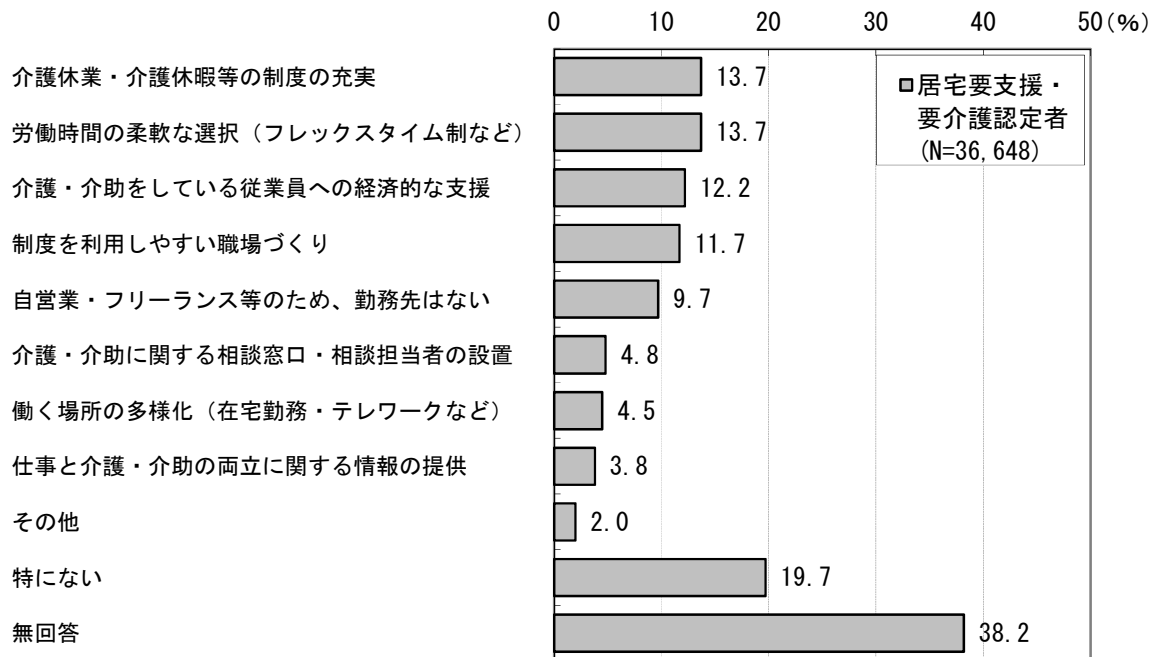
- ・主な介護者の方が介護にかけている1日当たりの時間をみると、「1～3時間未満」が2割以上（25.5%）と最も多く、次いで「1時間未満」（18.1%）、「3～6時間未満」（12.9%）の順となっており、1日3時間未満の人が4割以上（43.6%）となっている。



	全体	1時間未満	1～3時間未満	3～6時間未満	6～12時間未満	12時間以上	無回答
回答数(人)	36,648	6,622	9,362	4,729	2,400	2,491	11,044
構成比 (%)	100.0	18.1	25.5	12.9	6.5	6.8	30.1

問 54 仕事と介護・介助の両立に効果があると思う勤務先からの支援（複数回答）

- ・仕事と介護・介助の両立に効果があると思う勤務先からの支援をみると、「特にない」が約2割（19.7%）となっているものの、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」・「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がともに1割以上（13.7%）と多く、次いで「介護・介助をしている従業員への経済的な支援」（12.7%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（11.7%）の順となっている。

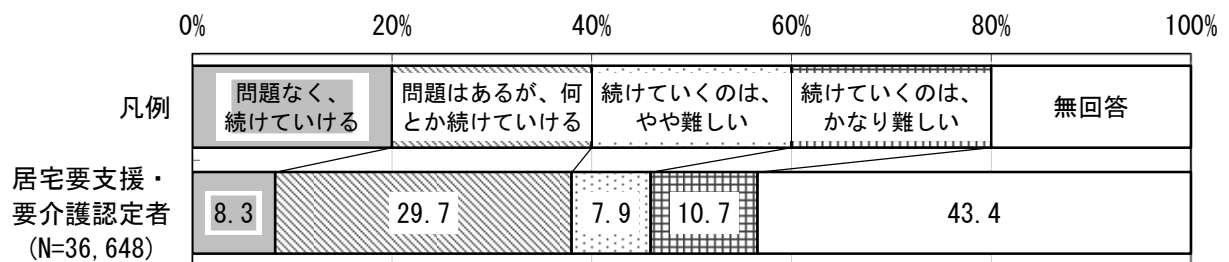


	全体	介護休業・ 介護休暇等 の制度の充 実	労働時間の 柔軟な選択 （フレック スタタイム制 など）	介護・介助を している 従業員への 経済的な 支援	制度を利用 しやすい 職場づくり	自営業・フリ ーランス等 のため、勤務 先はない
回答数(人)	36,648	5,035	5,016	4,475	4,293	3,561
構成比 (%)	100.0	13.7	13.7	12.2	11.7	9.7

	介護・介助に 関する相談 窓口・相談担 当者の設置	働く場所の 多様化 （在宅勤務 ・テレワーク など）	仕事と介護 ・介助の両立 に関する 情報の提供	その他	特にない	無回答
回答数(人)	1,758	1,640	1,389	719	7,211	14,009
構成比 (%)	4.8	4.5	3.8	2.0	19.7	38.2

問 55 今後の就労と介護・介助の両立

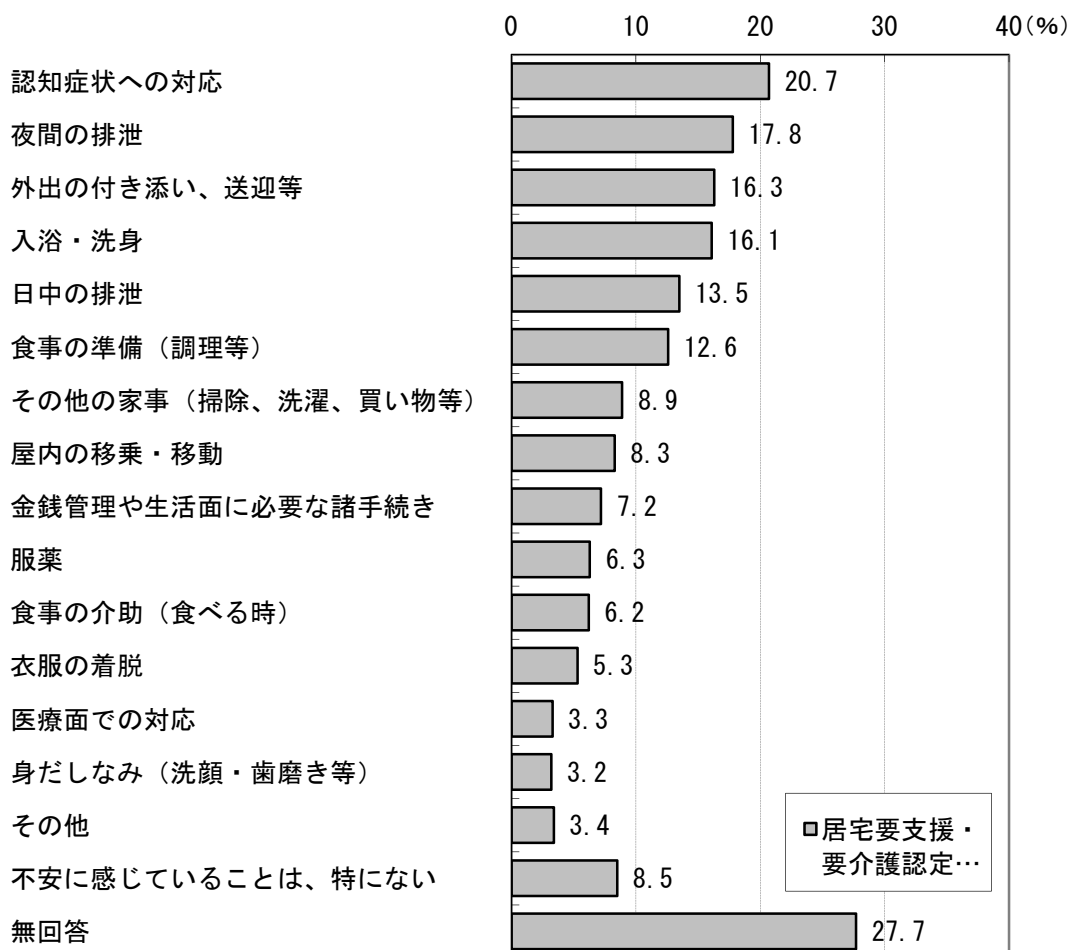
- ・今後の就労と介護・介助の両立をみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が約3割（29.7％）を占め最も多く、「問題なく、続けていける」（8.3％）と合わせると、働きながら介護・介助を続けていける人が4割近く（38.0％）となっている。
- ・一方で、「続けていくのは、やや難しい」（7.9％）と「続けていくのは、かなり難しい」（10.7％）を合わせると、働きながら介護・介助を続けていくのが難しい人が2割近く（18.6％）となっている。



	全体	問題なく、 続けて いける	問題はある が、何と か続けて いける	続けていく のは、やや 難しい	続けていく のは、かなり 難しい	無回答
回答数(人)	36,648	3,038	10,891	2,892	3,913	15,914
構成比(%)	100.0	8.3	29.7	7.9	10.7	43.4

問 56 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護・介助者の方が不安に感じる介護等（複数回答）

- ・現在の生活を継続していくにあたって、主な介護・介助者の方が不安に感じる介護等をみると、「認知症状への対応」が約2割（20.7%）を占め最も多く、次いで「夜間の排泄」（17.8%）、「外出の付き添い、送迎等」（16.3%）、「入浴・洗身」（16.1%）の順となっている。

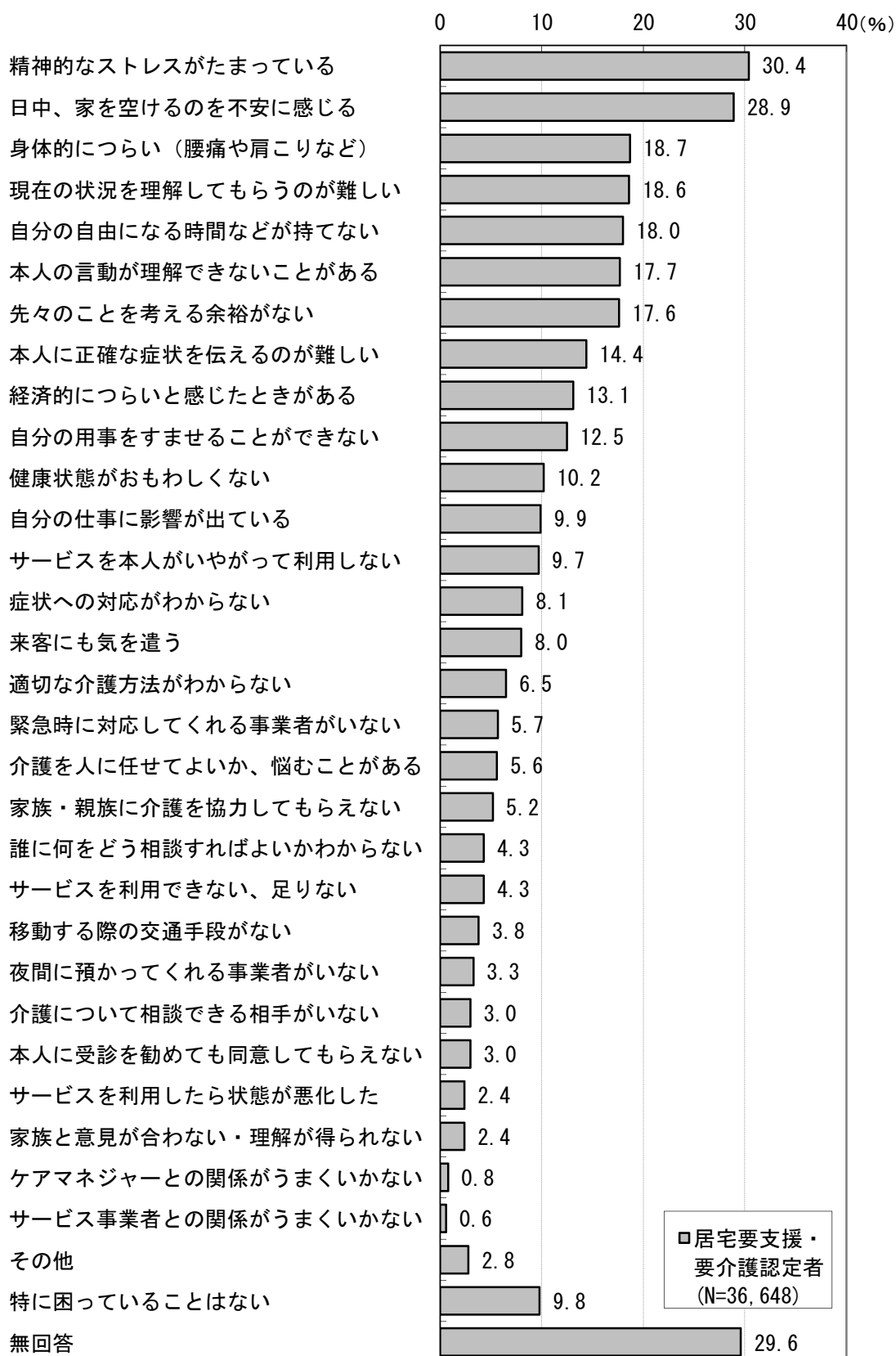


	全体	認知症状への対応	夜間の排泄	外出の付き添い、送迎等	入浴・洗身	日中の排泄	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	屋内の移乗・移動
回答数(人)	36,648	7,581	6,526	5,963	5,916	4,958	4,611	3,255	3,048
構成比(%)	100.0	20.7	17.8	16.3	16.1	13.5	12.6	8.9	8.3

	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	服薬	食事の介助（食べる時）	衣服の着脱	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	その他	不安に感じていることは、特になし	無回答
回答数(人)	2,652	2,310	2,280	1,954	1,213	1,179	1,264	3,132	10,141
構成比(%)	7.2	6.3	6.2	5.3	3.3	3.2	3.4	8.5	27.7

問 57 主な介護者の方が介護する上で困っていること（複数回答）

- ・主な介護者の方が介護する上で困っていることをみると、「精神的なストレスがたまっている」（30.4%）、「日中、家を空けるのを不安に感じる」（28.9%）がともに3割前後を占めて多く、次いで「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」（18.7%）、「現在の状況を理解してもらるのが難しい」（18.6%）、「自分の自由になる時間などが持てない」（18.0%）の順となっている。



	全体	精神的なストレスがたまっている	日中、家を空けるのを不安に感じる	身体的につらい（腰痛や肩こりなど）	現在の状況を理解してもらるのが難しい	自分の自由になる時間などが持てない	本人の言動が理解できないことがある
回答数(人)	36,648	11,144	10,573	6,841	6,802	6,595	6,485
構成比(%)	100.0	30.4	28.9	18.7	18.6	18.0	17.7

	先々のことを考える余裕がない	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	経済的につらいと感じたときがある	自分の用事をすませることができない	健康状態がおもわしくない	自分の仕事に影響が出ている	サービスを本人がイヤがって利用しない
回答数(人)	6,458	5,270	4,798	4,595	3,741	3,621	3,559
構成比(%)	17.6	14.4	13.1	12.5	10.2	9.9	9.7

	症状への対応がわからない	来客にも気を遣う	適切な介護方法がわからない	緊急時に対応してくれる事業者がいない	介護を人に任せてよいかわ、悩むことがある	家族・親族に介護を協力してもらえない	誰に何をどう相談すればよいかわからない
回答数(人)	2,955	2,940	2,372	2,098	2,069	1,922	1,583
構成比(%)	8.1	8.0	6.5	5.7	5.6	5.2	4.3

	サービスを利用できない、足りない	移動する際の交通手段がない	夜間に預かってくれる事業者がいない	介護について相談できる相手がない	本人に受診を勧めても同意してもらえない	サービスを利用したら状態が悪化した	家族と意見が合わない・理解が得られない
回答数(人)	1,574	1,394	1,218	1,100	1,087	889	867
構成比(%)	4.3	3.8	3.3	3.0	3.0	2.4	2.4

	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	サービス事業者との関係がうまくいかない	その他	特に困っていることはない	無回答
回答数(人)	278	222	1,034	3,583	10,859
構成比(%)	0.8	0.6	2.8	9.8	29.6